

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|----------------------------|
| 科目名 | Expression A(1) VT(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICが主催するJASRA認定メンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ボイストレーニング、および、歌唱指導 | | | | | |
| 到達目標 | ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---------------------------------------|--------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声メソッドの説明、課題曲提示 | 発声練習及び課題曲練習 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 外化、姿勢呼吸、低音、イーストレッチのレクチャー、歌唱指導 | 発声練習及び課題曲練習 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 外化、発声指導、共鳴レクチャー、歌唱指導 | 発声練習及び課題曲練習 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック | 基礎練習、課題テキストを読みレポート |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | イベント楽曲のアナライズ |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | イベント楽曲のアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(1) Gt Melodic Concept(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 廣瀬昌明 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | Brainsout, イガバンBB(NHK「探検バクモン」OP/EDテーマ)などの他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践。 | | | | | | |
| 到達目標 | メジャースケール、マイナースケール、ペントニック(メジャー／マイナー)の構造、ポジションを覚え、複数のキーで、一定のテンポで弾けるようにする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|------------------------------|-------|-------|--|-------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | トレーニングメニューを作成する。 パターン練習実践1。 | メジャースケールを予習 |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | ピッキング3種類を覚える。 パターン練習実践2。 | 自分のトレーニングメニューを作成 |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | メジャースケールパターン2を覚える。 上行下行パターンを弾く。 | オルタナイト・ピッキングで練習する時間を作る。 |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | メジャースケールパターン3を覚える。 3連パターンを弾く。 | スケールの復習、 練習メニューの見直し。 |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | メジャースケールパターン4を覚える。 4連パターンを弾く。 | スケールの復習、 練習メニューの見直し。 |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | メジャースケールパターン5を覚える。 3度パターンの理解と練習を行う。 | スケールの復習、 練習メニューの見直し。 |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | メジャースケールパターン6を覚える。 4度パターンの理解と上行下行練習を行う。 | スケールの復習、 練習メニューの見直し。 |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | メジャースケールパターン7を覚える。 1-2-4パターンの理解と上下行練習を行う。 | スケールの復習、 練習メニューの見直し。 |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | ペントニック・パターン1を覚える。 3連での上下行パターンを弾く。 | ペントニックのポジション確認 |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | ペントニック・パターン2を覚える。 4連での上下行パターンを弾く。 | ペントニックのポジション確認 |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | ペントニック・パターン3を覚える。 HO上行、PO下行フレーズを弾く。 | ペントニックのポジション確認 |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | ペントニック・パターン4を覚える。 チョーキングを含むフレーズを弾く。 | ペントニックのポジション確認 |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | ペントニック・パターン5を覚える。 12小節ブルース、パンプでフレーズを弾く。 | ペントニックのポジション確認 |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して曲を学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアレンジを学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 毎日決まった時間(20分～)で練習する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 資料は授業内で配布。iPadなどで閲覧し注釈を加えます。 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(1) Bass Line Concept(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 河野充生 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようにするための講義実習を行う。 | | | | | | |
| 到達目標 | 1、指板の構造とフレット上の音名を全て把握出来るようになること。 2、メジャースケールの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 3、コードの概念を理解し、構成音を把握しながら演奏出来るようになること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------------|-------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 右手左手のフォームを確認し、スムーズな演奏法を習得する。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 譜面上の主な記号、指板上の音名を理解できる。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | コードネームについて理解し、そのルートを演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 度数や音程について、メジャースケールの構造について理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | #keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | b keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | ファーストポジションの重要性、2オクターブの音域の重要性を理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 全てのキーのメジャーペンタトニックスケールを演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 7thコードの成り立ちとメジャーキーのダイアトニック7thコードを理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | ナチュラルマイナースケールの構造を理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 前期のまとめと確認、評価。 | チャプター内のエクササイズの復習 |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。 | 楽曲の予習復習 |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。 | 楽曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| Bass Line Concept教科書 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(1) Dr Control Theory(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 星山哲也 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになる。 | | | | | | |
| 到達目標 | それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールを身につけることを目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|------------------|-------|-------|-----------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | グリップ&フォーム、フィンガーコントロールの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | フットワークの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | アクセレーションコントロール16分音符(3種類)の習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | アクセレーションコントロール3連符(2種類)の習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | ダブルストロークロールの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 5.7.9.11.13ストロークロールの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | バズ、バズ5、バズ7の習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | シングルバラデイドルの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | ダブルバラデイドル、トリプルバラデイドルの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | フラム、フラムアクセント16分&3連符の習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | フラムバラデイドルの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | フラムタップ、ラタマキューの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 総復習 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通して曲を学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアレンジを学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 「Control Theory」 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression A(1) Key Play Tech(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 土屋剛 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ活動・レコーディングなど行っている | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | 鍵盤演奏に特化した課題曲の練習を通して、腱鞘炎を防ぐ奏法の習得。および、シンセサイザーの基礎を習得する事を目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------------------------------|-------------------------|----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 課題曲1を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | 課題曲1の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 課題曲1の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 課題曲1の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 課題曲2を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 課題曲2の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 課題曲2の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 課題曲2の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | 課題曲3を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 課題曲3の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 課題曲3の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 課題曲3の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 前期まとめ・試験。 | 前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。 | イベントでの自分の役割を確認しておく。 |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。 | イベントでの自分の役割を確認しておく。 |
| 準備学習 時間外学習 | | 復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 授業内で配布する資料 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|----------------------------|
| 科目名 | Expression A(2) VT(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICCSが主催するJASRA認定メンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ボイストレーニング、および、歌唱指導 | | | | | |
| 到達目標 | ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--|---------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック | 発声練習及び課題曲練習 |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、発表会の曲チェック、冬休みの課題チェック | 発声練習及び課題曲練習 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、発表会の曲チェック | 発声練習及び課題曲練習 |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、発表会の曲チェック | 発声練習及び課題曲練習 |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | 卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、発声チェック、発表会の曲チェック | 基礎練習、課題テキストを読み、レポート |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | イベント楽曲のアナライズ |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | イベント楽曲のアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(2) Gt Melodic Concept(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 廣瀬昌明 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | Brainsout, イガバンBB (NHK「探検バクモン」OP/EDテーマ)などの他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践。 | | | | | | |
| 到達目標 | モードスケールの構造を理解し、各スケールのポジションを覚え、一定のテンポで弾けるようにする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|------------------------------|--------|-------|---|---------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | アイオニアン <small>の</small> 構造を理解し、 ポジションを覚える。 | maj7バンプ進行で練習 |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | ドリアン <small>の</small> 構造を理解し、 ポジションを覚える。 | m7バンプ進行で練習 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | フリジアン <small>の</small> 構造を理解し、 ポジションを覚える。 | m7バンプ進行で練習 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | リディアン <small>の</small> 構造を理解し、 ポジションを覚える。 | maj7#11バンプ進行で練習 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | ミクソリディアン <small>の</small> 構造を理解し、 ポジションを覚える。 | dom7バンプ進行で練習 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | エオリアン <small>の</small> 構造を理解し、 ポジションを覚える。 | m7バンプ進行で練習 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | ロクリアン <small>の</small> 構造を理解し、 ポジションを覚える。 | m7b5バンプ進行で練習 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | maj7/minor7/m7b5/dom7の 4種類のアルペジオを弾く | ポジション固定で アルペジオの切り替えを練習 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | ディミニッシュスケールの構造を理解し、 ポジションを覚える。 | dim7バンプ進行で練習 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | ホールトーンスケールの構造を理解し、 ポジションを覚える。 | II7b5バンプ進行で練習 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | ハーモニックマイナー 構造を理解しポジションを覚える。 | minor-major7バンプ進行で練習 |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | メロディックマイナーの 構造を理解しポジションを覚える。 | minor-major7バンプ進行で練習 |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | オルタードスケールの構造を理解し、 ポジションを覚える。 | dom7b9,dom7#9バンプ進行で練習 |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通して曲を学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアレンジを学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 毎日決まった時間(30分～)で練習する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 資料は授業内で配布。iPadなどで閲覧し注釈を加えます。 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-----------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(2) Bass Line Concept(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 河野充生 |
| | | 授業 形態 | 講義・演 習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | | | | | | |
| 教員の略歴 | ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようになるための講義実習を行う。 | | | | | | |
| 到達目標 | 1、メジャースケール、マイナースケールとそのダイアトニックコードの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 2、ブルースのハーモニーとそのコード進行、フレージングを理解し、演奏出来るようになること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|---|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | マイナーキーのダイアトニックコードについて理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | ブルーノートの構造を理解し、そのフレージングを演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 様々なブルースのコード進行を理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | これまでの総復習のエクササイズを行い、理解を定着させる。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | これまでの総復習のエクササイズを行い、理解を定着させ、応用する。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | メジャーキーのコードスケールを理解し、全てのキーで演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | メジャーキーのコード進行に対して、アルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 分数コードの成り立ちを理解し、その機能を把握し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | ベースラインの成り立ちとアプローチノートについて理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | クロマチックアプローチとその分析について理解し、実践できる。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | マイナーキーのコードスケールを理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価。 | 課題曲の復習 |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ | 楽曲の予習・復習 |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベントの実践を通してベーステクニックを学ぶ | 楽曲の予習・復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| ベースラインコンセプト教科書 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(2) Dr Control Theory(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 星山哲也 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールや、連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになり、楽曲の中での自由度を広げて欲しい。 | | | | | | |
| 到達目標 | それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、無駄のないスティックコントロールと連符感を身につけることを目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|------------------|--------|-------|---|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | ラフ、4.5ストロークラフの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | ドラッグ、シングルドラッグ、ダブルドラッグの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | ドラッグパラディドルNo.1.2の習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | ラタマキュー、シングルラタマキュー、ダブルラタマキュー、トリプルラタマキューの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | ルーディメンツ総復習 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | チェンジアップの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 2拍3連、カウント、コンビネーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 4拍3連、カウント、コンビネーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 3拍4連、カウント、コンビネーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | 3拍4連on4/4の習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | 5拍4連、カウント、コンビネーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | 7拍フレーズの紹介 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | テスト | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して曲を学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアレンジを学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 「Control Theory」 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression A(2) Key Play Tech(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 土屋剛 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ活動・レコーディングなど行っている | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | 前期で学んだ技能を応用する。与えられた楽曲に対して、どのアプローチが使えるかを判断出来る能力を習得する事を目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------------------------------|-------------------------|----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 課題曲4を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | 課題曲4の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 課題曲4の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | 課題曲4の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | 課題曲5を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | 課題曲5の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 課題曲5の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 課題曲5の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 課題曲6を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | 課題曲6の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | 課題曲6の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | 課題曲6の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 後期まとめ・試験。 | 後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。 |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。 | イベントでの自分の役割を確認しておく。 |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。 | イベントでの自分の役割を確認しておく。 |
| 準備学習 時間外学習 | | 復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 授業内で配布する資料 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|----------------------|
| 科目名 | Expression B(1) Vocal Reading(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 潤豊・ 田村涼々架 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを学んでいき、個々の活動の可能性の幅を広げていく。 | | | | | |
| 到達目標 | 正しいリズムの理解と、正しいピッチでのメロディー歌唱を出来るようにする。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|-------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 授業の説明、自己紹介、音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを歌う。□ | 予習・復習など□ |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | リズム→全音符、2分、4分(休符も同様)で正しく歌う。メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う。□ | 予習・復習など□ |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | リズム→8分を歌う。メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う。 | 予習・復習など□ |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | リズム→16分を歌う。簡単なリズムとメロディーを聴き取り。メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌う。 | 予習・復習など□ |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | リズム→4/2拍子を学ぶ。16分を歌う。簡単なリズムとメロディーを聴き取り。メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌う。□ | 予習・復習など□ |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーを聴き取り。メロディー歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aまでを歌う。 | 予習・復習など□ |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。メロディー歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌う。 | 予習・復習など□ |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。メロディー歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌う。 | 予習・復習など□ |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。メロディー歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌う。 | 予習・復習など□ |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | リズム→タイや、16分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。メロディー歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌う。 | 予習・復習など□ |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | リズム→タイや、16分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。メロディー歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌う。 | 予習・復習など□ |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 前期テスト範囲発表。前期の総復習。 | テスト勉強 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 前期テスト | テスト勉強 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。 | 特に無し |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。 | 特に無し |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| パークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression B(1) Gt Harmonic Concept(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 安東滋 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ活動・レコーディング活動。90年よりギター・マガジンのメイン・ライターとして、数多くの記事を執筆。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。 ・本授業では、その土台を形成するためのトライアド・フォームの習得と、それを用いたエクササイズを通して、基本的なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・CAGEDシステムを理解し、コード・ボイスングを体系的に学ぶ。 ・コード・フォームを自分で組み立てられる思考を身につけ、音楽センスを磨くことを目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-----------------|-------|-------|-------------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 開放ポジションのメジャー・フォーム | メジャー・フォームの予習と復習 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | 開放ポジションのマイナー・フォーム | マイナー・フォームの予習と復習 |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | E型とA型のフォーム移動 | E型&A型フォームの予習と復習 |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | C型とG型のフォーム移動 | C型&G型フォームの予習と復習 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | D型のフォーム移動 | D型フォームの予習と復習 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 各フォームの構成音を理解する | コード構成音の確認 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 省略フォームの考察と実践 | 省略フォームの予習と復習 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 分数コードへの対応 | 分数コードの仕組みを確認 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | トライアドの変化型=sus4 | sus4フォームの予習と復習 |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | トライアドの変化型=dim | dimフォームの予習と復習 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | トライアドの変化型=aug | augフォームの予習と復習 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | コード進行への実践アプローチ | ダイアトニック・コードの予習と復習 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 試験週 | 前期で学んだ全フォームの復習 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 準備学習 時間外学習 | | | リズム&グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| H.C.1教科書、補足教材適宜 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression B(1) Ba Groove Analyze(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 遠藤敬三 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 22歳でバンドデビュー。マリン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。B: 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。 | | | | | | |
| 到達目標 | ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|-------|---|--|---------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | グルーヴの重要性とスタンダード・ミディ・ファイルの取扱方法を説明する。 | Chapter01の予習 |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | 4分、8分休符とタイとを使用した時の違いを説明する。 | Chapter01の復習とChapter02の予習 |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | 4分、8分休符の体得する。(エクササイズ) | Chapter02の復習とChapter03の予習 |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | スタッカート、テヌート記号のグルーヴ的な違いを説明する。 | Chapter03の復習とChapter04の予習 |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | スタッカートやテヌートを使用した時のグルーヴの違いを体得する。(エクササイズ) | Chapter04の復習とChapter05の予習 |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | アクセントの意味、シンコペーション記号の意味合いを説明する。 | Chapter05の復習とChapter06の予習 |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | アクセント、シンコペーションを使用した時のグルーヴの違いを体得する。(エクササイズ) | Chapter06の復習とChapter07の予習 |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | 音程の組み合わせによるリズム的な感じ方の違いを説明する。 | Chapter07の復習とChapter08の予習 |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | 音程の組み合わせによるリズム的な感じ方の違いを体得する。(エクササイズ) | Chapter08の復習とChapter09の予習 |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | 基本的な8ビートパターンとパターンの作り方を説明する。 | Chapter09の復習とChapter10の予習 |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | 基本的な8ビートのパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter10の復習とChapter11の予習 |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 基本的な16ビートパターンとパターンの作り方を説明する。 | Chapter11の復習とChapter12の予習 |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | 基本的な16ビートのパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter12の復習とChapter13の予習 |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 準備学習 時間外学習 | | 教科書を用いて事前に授業内容を把握しておく。授業時間外でベースプレイの練習を行う。1日1時間。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 滋慶出版教科書、Standard Midi File、Standard Midi Player | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression B(1) Dr Groove Making(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 奥出矢 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | テクニク系及びアンサンブルクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 現代音楽におけるスタンダードグルーヴの習得を目的とする。知識、テクニク、フィーリングに関して、アンサンブルの前段階となる基本体質を樹立するための演習を行う。毎回メインとなるテーマ以外にサブのテーマも設け2本立ての多角的な演習を展開する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 手足の連動と感覚が直結しているレベルを目指し、的確なタイムを保持できるようにする。様々なエクササイズの反復によりトレーニングに向かう行動を習慣化させる。 評価(固定) | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---------------------------------------|-------|-------|---|---------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 楽器構造の基礎理解。ドラムセットの発展経緯(背景) | 教材Chap.00&01内のプラクティスの消化 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | 8ビートノックパターンの実践。バックビート | 教材Chap.02内のプラクティスの消化(フォーム) |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 8ビートノック4Wayトレーニングの実践。タイム感 | 教材Chap.03内のプラクティスの消化(4Way) |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 8ビートノックアンサンブル・スタンスの理解 | 教材Chap.04内のプラクティスの消化(ハットオープン) |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 16ビートノック片手継続とキックトレーニング | Chap.05のプラクティス消化。ゴーストモーションの考察 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 16ビートノックセット内オーケストレーションの実践 | Chap.06のプラクティス消化。移動及びフィルインの練習 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 16ビートノック両手継続とパターン実践。バランスのチェック | 教材Chap.07内のプラクティスの消化(アクセントワーク) |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 16ビートノックバリエーションの実践。パルスイメージの理解 | 教材Chap.08内のプラクティスの消化(Step1~4) |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | 16ビートノックゴーストノート多用したサンプルの実践 | 教材Chap.09内のプラクティスの消化(ダイナミクス) |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 16ビートノックトータル・イメージを意識したアプローチ | 教材Chap.10内のプラクティスの消化(マイナスイメージ) |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | シャッフルフィールの習得。リズム構造の理解と実践 | 教材Chap.11内のプラクティスの消化 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | トラディショナル・スタイルの理解と実践 | 教材Chap.12内のプラクティスの消化(ニュアンス) |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 3連符包括のフィールの実践。ゴーストノート。 | 教材Chap.13内のプラクティスの消化。Chap.14の自習 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | リハーサルのための準備姿勢を自己解析する |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | 本番までの時間を自己管理する |
| 準備学習 時間外学習 | | | エクササイズ内容の習得に関して、時間を要する物とそうでない物があることを認識する必要がある | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 滋慶出版/ドラマーズ・ハンドブック「Dr Groove Making 1」 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | Expression B(1) Key Harmonic Concept(1) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 加藤エレナ |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | キーボーディストとして29年。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | キーボーディストが必要なジャンルに特化した演奏技術と知識を学び、それらをアンサンブルの中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。 | | | | | | |
| 到達目標 | 各ジャンルの核を勉強するために必要なスキルと要点を理解し、実践できるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-----------------------------|-------|-------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月19日 | 講義・演習 | メジャーダイアトニックコード内でのコードワーク。 | コード、ダイアトニックスケールについて予習、復習。 |
| 2 | 5月10日 | 講義・演習 | メジャーペンタトニックスケール、Straight Pop,Rock | スケール練習、曲の予習、練習。 |
| 3 | 5月17日 | 講義・演習 | 曲①のリック、グルーヴを学ぶ。 | 復習、他のCountry Pops,Rockの曲を聞いてみる。 |
| 4 | 5月24日 | 講義・演習 | 2、3、6thを意識したフレーズ、アドリブについて。 | スケールの特徴を復習、練習。 |
| 5 | 5月31日 | 講義・演習 | マイナーペンタトニック、Straight Rock Piano | スケール練習、曲の予習、練習。 |
| 6 | 6月7日 | 講義・演習 | 曲②のリック、グルーヴを学ぶ。 | 復習、他のRockの曲を聞いてみる。 |
| 7 | 6月14日 | 講義・演習 | 3b、4、7thを意識したフレーズ、アドリブについて。 | スケールの特徴を復習、練習。Bluesについて予習。 |
| 8 | 6月21日 | 講義・演習 | Bluesスケール、構成、Shuffleについて。 | スケール練習、曲の予習、練習。 |
| 9 | 6月28日 | 講義・演習 | 曲③Bluesのリック、演奏の基礎について。 | 復習、練習。代表曲を聞いて予習。 |
| 10 | 7月5日 | 講義・演習 | Blue Noteを意識したフレーズ、アドリブについて。 | 復習、練習。Funk Bluesについて予習。 |
| 11 | 7月12日 | 講義・演習 | 曲④Funk Bluesのアプローチについて。 | テンションハーモニーの復習、練習。 |
| 12 | 7月19日 | 講義・演習 | オルタードスケールを意識したフレーズ、アドリブについて。 | 復習、練習。試験の準備。 |
| 13 | 8月23日 | 講義・演習 | 試験、アドバイス | 復習。イベントの準備。 |
| 14 | 8月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通して音楽以外の全体像を学ぶ。 | 実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。 |
| 15 | 9月6日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。 | 実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 配布プリント、イヤホン、五線紙、筆記用具を持参する事。 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|----------------------|
| 科目名 | Expression B(2) Vocal Reading(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 潤豊・ 田村涼々架 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを学んでいき、個々の活動の可能性の幅を広げていく。 | | | | | |
| 到達目標 | 正しいリズムの理解と、正しいピッチでのメロディー歌唱を出来るようにする。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|--------|-------|--|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。 | 予習・復習など□ |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。 | 予習・復習など□ |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→8部休符を含めたメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。 | 予習・復習など□ |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→付点4部音符を含めたメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。 | 予習・復習など□ |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→3/4拍子のメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。 | 予習・復習など□ |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→3/4拍子のメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。 | 予習・復習など□ |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。 | 予習・復習など□ |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。 | 予習・復習など□ |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | リズムー今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズムの聴き取り。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。アカベラアンサンブルの練習。 | 予習・復習など□ |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | 後期の総復習。アカベラ練習。 | テスト勉強 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | 後期テスト | 特になし |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | アカベラ練習 | 特になし |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | アカベラ発表会 | 特になし |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。 | 特になし |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。 | 特になし |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 パークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression B(2) Gt Harmonic Concept(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 安東滋 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ活動・レコーディング活動。90年よりギター・マガジンのメイン・ライターとして、数多くの記事を執筆。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ・多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。 ・本授業では、その土台を形成するための7thフォームの習得と、それを用いたエクササイズを通して、基本的なコード・ワークを 実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | ・各種7thコードを習得し、コード・ボイスングを体系的に学ぶ。 ・コード・フォームを自分で組み立てられる思考を身につけ、音楽センスを磨くことを目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|-------------------------------|--------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 各種7thコードの仕組みを知る | 7thコードの構成音の確認 |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | 開放ポジションでの実践コード・ワーク(1) | 開放7thフォームの予習と復習 |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 開放ポジションでの実践コード・ワーク(2) | 開放7thフォームの予習と復習 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | 押弦7thフォームの習得と実践(1) | 各種7thフォームの予習と復習 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | 押弦7thフォームの習得と実践(2) | 各種7thフォームの予習と復習 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | 押弦7thフォームの習得と実践(3) | 各種7thフォームの予習と復習 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | minor7th(♭5)への対応 | minor7th(♭5)の予習と復習 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | dim7thへの対応 | dim7thの予習と復習 |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 省略ボイスングを学習する | 省略フォームの予習と復習 |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | 3音構成のBCSを学習する | BCSフォームの予習と復習 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | 7thコードを含む課題曲での実践(1) | 各種7thフォームの復習 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | 7thコードを含む課題曲での実践(2) | 各種7thフォームの復習 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 試験週 | 後期で学んだ全7thフォームの復習 |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 準備学習 時間外学習 | | | リズム&グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| H.C.1補足教材適宜 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression B(2) Ba Groove Analyze(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 遠藤敬三 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。 自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。B'z 松本孝弘と一諸に数多くのレコーディングに参加。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。 | | | | | | |
| 到達目標 | ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|--------|-------|---|---------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | シャッフルビートのリズム的な捉え方とジャンルとの関係について説明する。 | Chapter13の復習とChapter14の予習 |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | トリプレットフィールのリズムの捉え方と楽曲について説明する。 | Chapter14の復習とChapter15の予習 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | ハマーオンとブルオフの使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを説明する。 | Chapter15の復習とChapter16の予習 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | ハマーオンとブルオフの使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを体得する。 | Chapter16の復習とChapter17の予習 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | スライドダウン、スライドアップを使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを説明する。 | Chapter17の復習とChapter18の予習 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | スライドダウン、アップを使用によるグルーヴ的な感じ方の違いを体得する。 | Chapter18の復習とChapter19の予習 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 16ビートにおけるシンコペーションパターンについて説明する。 | Chapter19の復習とChapter20の予習 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 16ビートにおけるシンコペーションパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter20の復習とChapter21の予習 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | バウンス・ビートのリズム的な捉え方と基本的なパターンを説明する。 | Chapter21の復習とChapter22の予習 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | バウンス・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter22の復習とChapter23の予習 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | ゴーストノートを使用した時のグルーヴ的な違いを説明する。 | Chapter23の復習とChapter24の予習 |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | ゴーストノートを使用した時のグルーヴ的な違いを実践する。(エクササイズ) | Chapter24の復習 |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | 1年次の補足とまとめ | Chapter25の予習 |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコード・ワークを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 準備学習 時間外学習 | | | 教科書を用いて事前に授業内容を把握しておく。授業時間外でベースプレイの練習を行う。1日1時間。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 滋慶出版教科書、Standard Midi File、Standard Midi Player | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression B(2) Dr Groove Making(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 奥出矢 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ活動・レコーディング活動を行っている。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 現代音楽におけるスタンダードグルーヴの習得を目的とする。知識、テクニック、フィーリングに関して、アンサンブルの前段階となる基本体質を樹立するための演習を行う。毎回メインとなるテーマ以外にサブのテーマも設け2本立ての多角的な演習を展開する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 手足の連動と感覚が直結しているレベルを目指し、的確なタイムを保持できるようにする。またアンサンブルに近い環境での能動的なグルーヴの発動にもトライしていく。 評価(固定) | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---------------------------------------|--------|-------|---|-------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 16ビート／バウンスフィールの仕組みを学ぶ | 教材Chap.16内のプラクティスの消化(Step1~4) |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | 16ビート／バウンスフィールの実践。 | 教材Chap.17内のプラクティスの消化(ハネ方の維持) |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 16ビート／6連符包括の理解と実践 | 教材Chap.18内のプラクティスの消化(拍内細分化) |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | 16ビート／バウンスポイントの理解。ハネ率の把握 | 教材Chap.19内のプラクティスの消化(聴き取り&実践) |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | 8ビート実践。能動的感覚の重要性を学ぶ | グルーヴメイク・トライアル(Chap.20)の消化 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | 8ビート実践。他者フィールを取り込む柔軟性を知る | グルーヴメイク・トライアル(Chap.21)の消化 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 16ビート実践。音色、タイミング等ニュアンスの決定 | グルーヴメイク・トライアル(Chap.22)の消化 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 16ビート実践。シンコーション・アプローチの設定 | グルーヴメイク・トライアル(Chap.23)の消化 |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 16ビート実践。ハネたフィールの継続を試みる | グルーヴメイク・トライアル(Chap.24)の消化 |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | シャツフルビート実践。フィールの継続と拡張 | グルーヴメイク・トライアル(Chap.25)の消化 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | ブラジリアン・リズムの構造と歴史的背景を学ぶ | Chap.26内プラクティスの消化。ボサノバ基本型の練習 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | ボサノバ・フィールの理解と実践。 | Chap.27内プラクティスの消化。バリエーションの練習 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | ボサノバ・フィールの実践。グルーヴポイントを知る | Chap.28内プラクティスの消化(マイナスイオン音源) |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベントを通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | リハーサルのための準備姿勢を自己解析する |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベントを通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | 本番までの時間を自己管理する |
| 準備学習 時間外学習 | | | エクササイズ内容の習得に関して、時間を要する物とそうでない物があることを認識する必要がある | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 滋慶出版／ドラマーズ・ハンドブック「Dr Groove Making 1」 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | Expression B(2) Key Harmonic Concept(2) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 加藤エレナ |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | キーボーディストとして29年。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 前期の内容をふまえながら、更に演奏技術と知識を学び、それらをアンサンブルの中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。 | | | | | | |
| 到達目標 | 各ジャンルの核を勉強するために必要なスキルと要点を理解し、実践できるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-----------------------------|--------|-------|-----------------------------|--------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月4日 | 講義・演習 | モードについて。Swing Jazz Blues | 各スケールの復習、練習。ポップ楽曲を沢山聞く。 |
| 2 | 10月11日 | 講義・演習 | 曲⑤Jazz Bluesのリック、コード理論について。 | 5度圏の動きを復習、練習。楽曲分析の予習。 |
| 3 | 10月18日 | 講義・演習 | 楽曲分析の方法とスケール、タッチについて。 | 復習、練習。次曲の予習。 |
| 4 | 10月25日 | 講義・演習 | 曲⑥マイナーBlues、オルガンアプローチについて。 | コード進行の理解と特有のテクニックを理解、復習。 |
| 5 | 11月1日 | 講義・演習 | 曲⑥R&B 8/12 リックとフィールについて。 | テンポチェンジした練習、次曲の予習。 |
| 6 | 11月8日 | 講義・演習 | 曲⑦4/4、Soul リックの応用とフィールについて。 | Bluesフィールのコントロールの理解、復習。 |
| 7 | 11月15日 | 講義・演習 | 16分のバックギング方法と音色の選び方について。 | 復習とパラダイドルの練習。次曲を聞く。 |
| 8 | 11月22日 | 講義・演習 | 曲⑧Funk要素が入ったPOPS | 構成によってのアプローチをしっかりと理解、練習。 |
| 9 | 11月29日 | 講義・演習 | アクセントの位置を意識したアドリブについて。 | 運指とタッチコントロールを意識した練習。 |
| 10 | 12月6日 | 講義・演習 | シンセリードでのバンド奏法について。 | 復習。バンドコントローラーの練習。次曲予習。 |
| 11 | 12月13日 | 講義・演習 | 曲⑧ピアノバラードについて。 | サウンドさせていく要素の理解、復習。 |
| 12 | 12月20日 | 講義・演習 | イントロ、エンディング、ダイナミクスコントロール。 | コードアレンジ方法、奏法の復習。試験準備。 |
| 13 | 1月10日 | 講義・演習 | 試験、アドバイス。 | 復習。イベントの準備。 |
| 14 | 1月17日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。 | 実践を通して得た感覚を今後に活かせる準備と練習。 |
| 15 | 1月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。 | 実践を通して得た感覚を今後に活かせる準備と練習。 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 配布プリント、イヤホン、五線紙、筆記用具を持参する事。 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | K-POP Dance(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 小川紗弥花 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 2PM CONCERT HOUSE PARTY in Japan ダンサー出演 他 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 基礎基本を身に付ける授業を主とし、必要に応じて既存曲やK-POPの要素を含むの曲の振り練習を行う。 | | | | | | |
| 到達目標 | K-POPのダンスを学ぶにあたり、必要不可欠なK-POP特有の基礎基本を身に付けると共に、ストリートダンスとは違うという事を理解し表現できるよう、またそれを生かしオーディションに合格できるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|---------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 基礎ルーティンを理解し覚える。 | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・ウォーキング | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・ウォーキング | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲に合わせてダンスの練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲に合わせてダンスの練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | 自分のダンス姿を動画撮影し復習をする。疑問に思ったことは記録をして授業内で確認する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | K-POP Dance(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 小川紗弥花 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 2PM CONCERT HOUSE PARTY in Japan ダンサー出演 他 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 基礎基本を身に付ける授業を主とし、必要に応じて既存曲やK-POPの要素を含むの曲の振り練習を行う。 | | | | | | |
| 到達目標 | K-POPのダンスを学ぶにあたり、必要不可欠なK-POP特有の基礎基本を身に付けると共に、ストリートダンスとは違うという事を理解し表現できるよう、またそれを生かしオーディションに合格できるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|------------------|---------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 基礎ルーティンを理解し覚える。 | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・ウォーキング | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・ウォーキング | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲に合わせてダンスの練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲に合わせてダンスの練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|----|
| 科目名 | Diction(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICCSのメンバーとしてauのCM等、数多くのレコーディングを担当。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 英語の発音向上及び、表現力の向上 | | | | | | |
| 到達目標 | 正しい英語の発音を理解し、歌の中で活かせる。感情表現することへの恐れをなくし、感情を顔や体で表現し、歌の中で活かせる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|----------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月22日 | 講義・演習 | 授業内容、趣旨説明、カウンセリング | ワークシート・資料を確認 |
| 2 | 4月29日 | 講義・演習 | 英語の発音、母音レクチャー、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 3 | 5月13日 | 講義・演習 | 英語の発音、母音レクチャー、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 4 | 5月20日 | 講義・演習 | 英語の発音、子音レクチャー、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 5 | 5月27日 | 講義・演習 | 英語の発音、子音レクチャー、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 6 | 6月3日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 7 | 6月10日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 8 | 6月17日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 9 | 6月24日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 10 | 7月1日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 11 | 7月8日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 12 | 7月15日 | 講義・演習 | 夏休み課題チェック、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 13 | 8月26日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 14 | 9月2日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。 | 楽曲の確認 |
| 15 | 9月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。 | 楽曲の確認 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|----|
| 科目名 | Diction(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICCSのメンバーとしてauのCM等、数多くのレコーディングを担当。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 英語の発音向上及び、表現力の向上 | | | | | | |
| 到達目標 | 正しい英語の発音を理解し、歌の中で活かせる。感情表現することへの恐れをなくし、感情を顔や体で表現し、歌の中で活かせる | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|----------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月7日 | 講義・演習 | 授業内容、趣旨説明、カウンセリング | ワークシート・資料を確認 |
| 2 | 10月14日 | 講義・演習 | 英語の発音、母音レクチャー、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 3 | 10月21日 | 講義・演習 | 英語の発音、母音レクチャー、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 4 | 10月28日 | 講義・演習 | 英語の発音、子音レクチャー、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 5 | 11月4日 | 講義・演習 | 英語の発音、子音レクチャー、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 6 | 11月18日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 7 | 11月25日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 8 | 12月2日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 9 | 12月9日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 10 | 12月16日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 11 | 1月13日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 12 | 1月20日 | 講義・演習 | 夏休み課題チェック、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 13 | 2月3日 | 講義・演習 | 英語の発音、課題曲での発音チェック、表現指導 | ワークシート・資料を確認 |
| 14 | 2月10日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。 | 楽曲の確認 |
| 15 | 2月17日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。 | 楽曲の確認 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|----------------------|
| 科目名 | Dance For Singers(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 潤豊・ 川島 美優 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | 潤: THE SOULMATIC'Sメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。 川島: バックダンサー・インストラクターとして活動中 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | リズムをとる、カッコよく歩く、ポージングを決めたりと、歌を歌いながら自然に出来る様になる為に基礎から勉強していきます。 | | | | | |
| 到達目標 | リズム、動きを取り入れ確実に歌いきれるスキルを身につける。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|---------------------------|----------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 授業の進め方の説明。目標の確認。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | ストレッチ、筋トレを取り入れしなやかな体づくり開始。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | ウォーキングレッスンの説明。実践。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | ウォーキングレッスン。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 課題曲に合わせてウォーキングの練習 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | ポージングレッスンの説明。実践。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | ポージングレッスン。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | 課題曲に合わせてポージングの練習。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 各自課題曲選び。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 課題曲にウォーキング、ポージングを取り入れ1曲制作。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 10週目の続き。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | テスト準備。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | テスト。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | イベント実践を通してダンスを学ぶ |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | YoutubeなどでJAZZを観る。知る。触れる。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|----------------------|
| 科目名 | Dance For Singers(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 潤豊・ 川島 美優 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | 潤: THE SOULMATICsメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec参加。多方面で活躍中。 川島: バックダンサー・インストラクターとして活動中 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | リズムをとる、カッコよく歩く、ポージングを決めたりと、歌を歌いながら自然に出来る様になる為に基礎から勉強していきます。 | | | | | |
| 到達目標 | リズム、動きを取り入れ確実に歌いきれるスキルを身につける。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|---------------------------|--------------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 後期授業の進め方の説明。目標の再確認。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 前期同様ストレッチ、筋トレを取り入れしなやかな体づくり開始。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | リズム取りレッスンの説明。実践。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | リズム取りレッスン。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 課題曲に合わせてリズム取りの練習 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 手を使ったりと表現力を出し方の説明。実践。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 表現力のレッスン。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 課題曲に合わせて表現力の練習。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 各自課題曲選び。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 課題曲に学習した全てを取り入れ1曲制作。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 10週目の続き。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | テスト準備。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | テスト。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | YoutubeなどでJAZZを観る。知る。触れる。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|-----------------------|
| 科目名 | Piano Duo A(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 吉田華奈 加藤エレナ |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | 吉田華奈: THE SOULMATIC成员として様々なコンサート、イベント、Recに参加。 加藤エレナ: キーボーディストとして30年。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ピアノとボーカルのアンサンブル | | | | | |
| 到達目標 | ピアノとボーカルとのアンサンブル力の向上 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | 講師自己紹介、授業内容説明、実践 | 課題を考えてくる |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|-----------------------|
| 科目名 | Piano Duo A(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 吉田華奈 加藤エレナ |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | 吉田華奈: THE SOULMATIC成员として様々なコンサート、イベント、Recに参加。 加藤エレナ: キーボーディストとして30年。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ピアノとボーカルのアンサンブル | | | | | |
| 到達目標 | ピアノとボーカルとのアンサンブル力の向上 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題を考えてくる |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|---------------|
| 科目名 | Piano Duo B(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 橋元美沙 田中ひなの |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICCSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ピアノとボーカルのアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | ピアノとボーカルとのアンサンブル力の向上 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | 講師自己紹介、授業内容説明、実践 | 課題を考えてくる |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|---------------|
| 科目名 | Piano Duo B(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 橋元美沙 田中ひなの |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICCSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ピアノとボーカルのアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | ピアノとボーカルとのアンサンブル力の向上 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題を考えてくる |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|----------------------------------|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | JazzDance(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 寺本藍 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ダンサー・振付師として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | JAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。 | | | | | | |
| 到達目標 | プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|---------------------------|-----------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 授業の進め方の説明。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 身体の作りを説明。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 歌いながらの踊る為に必要な身体の使い方の説明。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | ターンの説明と実践。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | ターンの応用ピルエットの説明。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | ピルエットの練習で体幹を意識。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 6週まで学んだターンを取り入れたコンビネーション開始。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | ターンコンビネーションの習得の練習。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | ターンコンビネーションに応用を加える。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | ターンコンビネーション応用の習得の練習。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 1週目からのまとめの振付け。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 実技テストの課題練習。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 実技テスト。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | YoutubeなどでJAZZを観る。知る。触れる。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|----------------------------------|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | JazzDance(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 寺本藍 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ダンサー・振付師として活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | JAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。 | | | | | | |
| 到達目標 | プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|---------------------------|-------------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 筋トレによる、身体作りの強化。(腹筋) | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 筋トレによる、身体作りの強化。(上半身) | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 筋トレによる、身体作りの強化。(下半身) | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 学んだ事を取り入れた振付け開始。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 振付けの踊りこみ | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 振付けの応用 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 4週目からの振付けの発表 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付け開始。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ② | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 試験準備。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 試験 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | YoutubeなどでJAZZを観る。知る。触れる。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----------------|
| 科目名 | Group Vocal(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 潤豊 ・ 神崎絢乃 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる。その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス(フォーメーション)、パフォーマンス、マインドを学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | まずは歌いながら踊ること、人前で発表することに慣れる。チームで1曲を作り上げるコミュニケーションを身につける。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 授業の説明、自己紹介、課題曲1発表 | 課題曲準備 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 課題曲1、歌、ハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲2、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲3、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲4、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション、クラス内発表 | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。 | 楽曲の予習復習 |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。 | 楽曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|---------------------|
| 科目名 | Group Vocal(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 潤豊・ 神崎絢乃 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる。その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス(フォーメーション)、パフォーマンス、マインドを学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | まずは歌いながら踊ること、人前で発表することに慣れる。チームで1曲を作り上げるコミュニケーションを身につける。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 課題曲5、歌、ハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲6、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲7、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲8、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | クラス内発表、1年間のリフレクション | 発表会に向けて個人練習 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。 | 楽曲の予習復習 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。 | 楽曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | K-POP Rap(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 日吉永昊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ヴォーカリストとしてライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ①昨今の流行曲にはほとんどの場合、ラップパートもしくはリズムに特化したセクションがあります。 リズムの解釈を始めそのセクションを担当できる実力をつけることは大きな武器となります。 ②ボーカルにおける発声&作詞 ③自身を表現することのできる人になって欲しい。 また、このクラスを通じて音楽の歴史や表現の本質を学び、 より良い表現方法を習得し、人の気持ちの分かる心を動かせる人材になって欲しいです。 | | | | | | |
| 到達目標 | 聴いた曲をすぐに自分のものにできるようになる事。最高の題材は現在売れているヒット曲に他なりません。 音を楽しむのはもちろん、表現者である以上、誰よりもその音楽について理解していなければなりません。 このクラスの終了時には客観的に分析したものに主観を落とし込む能力が備わり、大きなスキルアップとなる事でしょう。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-----------------------|-------|-------|-----------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | リズム 音に乗ることができるようになる | 資料を見て準備学習 |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 発声 しっかりと声を出せるようになる | 楽曲の予習 |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | リズム&フロー 音に自分のメロディをのせる | 発声練習 |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 分析力 普段聞こえない音の拾い方を学ぶ | 楽曲の予習 |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 模倣1 完全に楽曲を再現できる | 楽曲の予習 |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 模倣2 完全に楽曲を再現できる | 楽曲の予習 |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 模倣3 完全に楽曲を再現できる | 楽曲の予習 |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | オリジナルフロー 自分の声の作り方 | 楽曲の予習 |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | オリジナルフロー 自分のラップの作り方 | 楽曲の予習 |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 作詞 自分の気持ちを音にのせる | 作詞 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 作詞 自分の気持ちを音にのせる | 作詞 レコーディング |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 高度な楽曲の習得 | やれること全て |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 高度な楽曲の習得 | やれること全て |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してラップスキルを学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してラップスキルを学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| youtube PDF資料 スマートフォン | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | K-POP Rap(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 日吉永昊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ヴォーカリストとしてライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ①昨今の流行曲にはほとんどの場合、ラップパートもしくはリズムに特化したセクションがあります。 リズムの解釈を始めそのセクションを担当できる実力をつけることは大きな武器となります。 ②ボーカルにおける発声&作詞 ③自身を表現することのできる人になって欲しい。 また、このクラスを通じて音楽の歴史や表現の本質を学び、 より良い表現方法を習得し、人の気持ちの分かる心を動かせる人材になって欲しいです。 | | | | | | |
| 到達目標 | 聴いた曲をすぐに自分のものにできるようになる事。最高の題材は現在売れているヒット曲に他なりません。 音を楽しむのはもちろん、表現者である以上、誰よりもその音楽について理解していなければなりません。 このクラスの終了時には客観的に分析したものに主観を落とし込む能力が備わり、大きなスキルアップとなる事でしょう。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-----------------------|--------|-------|------------------|--------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | K-POPにおけるRAPの意義 | K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | K-POPにおけるRAPの意義 | K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | HIP HOPの歴史① | K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | HIP HOPの歴史② | K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 歌詞の書き方初級 | 韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | 歌詞の書き方中級 | 韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 歌詞の書き方実践 | 韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | オリジナルRAP発表 | 韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | RAP発表振り返り | 作成したRAPをヴォイスメモに入れて振り返る |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | リズムトレーニング① | クリックに合わせてラップを言えるように練習・復習をする |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | リズムトレーニング② | クリックに合わせてラップを言えるように練習・復習をする |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | テスト課題発表 | 学んだことの復習・練習 |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 定期試験 | 韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲の練習を一日最低3時間行う・復習 |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲の練習を一日最低4時間行う・復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| youtube PDF資料 スマートフォン | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|--|
| 科目名 | Band Ensemble A(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | |
| 授業の学習 内容 | Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。 | | | | | |
| 到達目標 | 2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|-------|---|-----------------------------|---|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 楽曲のアナライズを行う。 | Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | UNIT-1(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | UNIT-1(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 資料音源を聴き、他のパートと自分のパートとの、リズムやハーモニーの関係を理解する。 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | UNIT-2(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏が、他のパートの リズム・音程と調和しているか、自己評価する。 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | UNIT-2(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 曲の構成(イントロや歌メロごとの小節数)を把握する為、自分自身が見やすい歌詞または譜面を書き出す。 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | UNIT-3(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 自分自身が書き出した歌詞・譜面と資料音源や録音した演奏で曲の構成を暗譜する。 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | UNIT-3(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 他の実技(ボイストレーニングやテクニック系)授業で学んだ内容を、アンサンブルで活用する。 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | UNIT-4(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 現在の自分が、思うようにできない事柄の習熟度を上げる為の練習を行う。 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | UNIT-4(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その特徴を感じ取る。 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | UNIT-5(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | UNIT-5(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | UNIT-6(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回のアンサンブルの向上の為、練習する。 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | UNIT-6(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | リハーサルのための準備姿勢を自己解析する |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | 本番までの時間を自己管理する |
| 準備学習 時間外学習 | | Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯端末や iPad | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|--|
| 科目名 | Band Ensemble A(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | |
| 授業の学習 内容 | Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。 | | | | | |
| 到達目標 | 2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|--------|---|-----------------------------|--|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | UNIT-7(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回のアンサンブルの向上の為、練習する。 |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | UNIT-7(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | UNIT-8(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | UNIT-8(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | UNIT-9(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | UNIT-9(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | これまでの授業で学んだ音楽を生んだ文化や、国民性に触れ、今後の学びや成長の糧とする。 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 進級制作展楽曲に取り組む | 進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 進級制作展楽曲に取り組む | 進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 進級制作展楽曲に取り組む | 進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 進級制作展楽曲に取り組む | 進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | UNIT-10(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | UNIT-10(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べられるよう、楽曲を理解する。 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | UNIT-11 課題曲2曲の演習を行う。 | 年間を通し学んだ内容を積極的に表現できるよう練習に取り組む。 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | リハーサルのための準備姿勢を自己解析する |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | 本番までの時間を自己管理する |
| 準備学習 時間外学習 | | Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯端末や iPad | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|--|
| 科目名 | Band Ensemble B(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | |
| 授業の学習 内容 | Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。 | | | | | |
| 到達目標 | 2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|-------|---|-----------------------------|---|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 楽曲のアナライズを行う。 | Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | UNIT-1(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | Playing Style Analysis 授業でのアナライズを踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、実技練習に取り組む。 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | UNIT-1(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 資料音源を聴き、他のパートと自分のパートとの、リズムやハーモニーの関係を理解する。 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | UNIT-2(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 前回のアンサンブルでの録音または録画した、自らの歌唱・演奏が、他のパートの リズム・音程と調和しているか、自己評価する。 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | UNIT-2(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 曲の構成(イントロや歌メロごとの小節数)を把握する為、自分自身が見やすい歌詞または譜面を書き出す。 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | UNIT-3(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 自分自身が書き出した歌詞・譜面と資料音源や録音した演奏で曲の構成を暗譜する。 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | UNIT-3(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 他の実技(ボイストレーニングやテクニック系)授業で学んだ内容を、アンサンブルで活用する。 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | UNIT-4(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 現在の自分が、思うようにできない事柄の習熟度を上げる為の練習を行う。 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | UNIT-4(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その特徴を感じ取る。 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | UNIT-5(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | UNIT-5(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | UNIT-6(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回のアンサンブルの向上の為、練習する。 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | UNIT-6(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | これまで接することのなかった音楽ジャンルを注意深く聴き、その楽曲における自らのパートの役割を感じ取り、練習する。 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | リハーサルのための準備姿勢を自己解析する |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | 本番までの時間を自己管理する |
| 準備学習 時間外学習 | | Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯端末や iPad | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|--|
| 科目名 | Band EnsembleB(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 奥出矢 清水賢治 渡辺裕太 鈴木克弘 西涼子 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | |
| 授業の学習 内容 | Playing Style Analysis 授業(楽曲の演奏についての解説)と連動し、本授業では主に教室におけるアンサンブル演習を行う。後期 進級展、総復習発表会においては、本授業で学んだことを活かし、ライブハウスやホールでの演奏をイメージし、バンド単位での練習を積み、ライブ演奏を実践する。 アンサンブル演奏と、対人関係における反応力や、コミュニケーション力を養う。 | | | | | |
| 到達目標 | 2週ごとに、2曲を1組とした、UNIT-1から、UNIT-11までの課題曲を演習する。 講師から、他パートへのアドバイスも、プロデューサーやリーダーとなる観点を育む学びとする。 課題曲の歌唱・演奏の習熟のみでなく、実践的なアンサンブルの場において必要な、 コミュニケーション力・感性・対応力を育むことを目標とする。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|--------|---|-----------------------------|--|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | UNIT-7(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 課題曲に対する、自分自身の習熟度を自己評価し、次回のアンサンブルの向上の為、練習する。 |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | UNIT-7(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | UNIT-8(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | UNIT-8(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 曲の難易度が上がっても、これまで学んだ内容を振り返り、取り組む。 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | UNIT-9(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 担当する楽曲の構成や各パートの役割など、ライブで演奏することを前提に、練習する。 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | UNIT-9(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | これまでの授業で学んだ音楽を生んだ文化や、国民性に触れ、今後の学びや成長の糧とする。 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 進級制作展楽曲に取り組む | 進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 進級制作展楽曲に取り組む | 進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 進級制作展楽曲に取り組む | 進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 進級制作展楽曲に取り組む | 進級展本番に向け、衣装やパフォーマンスについても、楽曲メンバーでコミュニケーションを取り、準備を行う。 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | UNIT-10(1週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 視点が自らの演奏のみに狭く留まらぬよう、事前の準備や練習を行う。 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | UNIT-10(2週目) 課題曲2曲の演習を行う。 | 自分自身と、他パートを含めたバンド全体の向上の為、セルフプロデュースの観点から意見が述べられるよう、楽曲を理解する。 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | UNIT-11 課題曲2曲の演習を行う。 | 年間を通し学んだ内容を積極的に表現できるよう練習に取り組む。 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | リハーサルのための準備姿勢を自己解析する |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通して蓄積されたスキルの具現化方法を学ぶ | 本番までの時間を自己管理する |
| 準備学習 時間外学習 | | Playing Style Analysis 授業を踏まえ、担当するパートの歌唱・演奏ができるよう、歌詞や譜面を書き出し、実技練習に取り組む。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 学校指定のサーバ内にアップされる資料音源とコード譜、アンサンブルでの自らの歌唱・演奏を録音または録画し、客観的に復習を行う為、携帯端末や iPad | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|----------------------------|----------|-------|-------------|-------------|-------------------------------------|
| 科目名 | New Generation Ensemble(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 遠藤敬三 高橋和久 城石真臣 神崎優 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 各楽器のアナライズ後、全体でアンサンブル | | | | | |
| 到達目標 | J-POPを通してリズム及びFeelを理解させる | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | 8beat/楽曲への理解・技術力を学ぶ | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | 8beat/他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | 8beat/他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | リフもの HalfRhythmの理解・技術力学ぶ | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | リフもの HalfRhythm他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | R&R基本スタイル/楽曲への理解・技術力を学ぶ | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | R&R基本スタイル/他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | 16beatリフもの/楽曲への理解・技術力を学ぶ | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | 16beatリフもの/他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | 8分シンコペ AcG/楽曲への理解・技術力を学ぶ | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | 8分シンコペ AcG/他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 16beatハネ/楽曲への理解・技術力を学ぶ | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | 16beatハネ/他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ | 楽曲の予習・復習 |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ | 楽曲の予習・復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 配布資料・音源 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|----------------------------|----------|-------|-------------|-------------|-------------------------------------|
| 科目名 | New Generation Ensemble(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 遠藤敬三 高橋和久 城石真臣 神崎優 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 各楽器のアナライズ後、全体でアンサンブル | | | | | |
| 到達目標 | J-POPを通してリズム及びFeelを理解させる | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--------------------------------|----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | DiscoBeat/ 楽曲への理解・技術力を学ぶ | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | DiscoBeat/ 他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | 海外研修 | 予習 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | 16BeatRock/ 楽曲への理解・技術力を学ぶ | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 16BeatRock/ 他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | Ballad/ 楽曲への理解・技術力を学ぶ | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | Ballad/ 他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 16Beat/ 楽曲への理解・技術力を学ぶ | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | 16Beat/ 他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | Motown/ 楽曲への理解・技術力を学ぶ | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | Motown/ 他パートとのバランス感覚を身につける | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 今までやった曲からランダムに演奏 | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | 今までやった曲からランダムに演奏 | 事前配布資料を確認して予習、準備しておく |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ | 楽曲の予習・復習 |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ | 楽曲の予習・復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------------|
| 科目名 | Berkleeゼミ(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 遠藤敬三 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | 70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 課題曲1 ガイダンス、演習 | 課題曲各パートアナライズ |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ | 課題曲各パートアナライズ |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 課題曲2 ヴォーカルによつての正しい音量バランス | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる | 課題曲各パートアナライズ |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか | 課題曲各パートアナライズ |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル | 課題曲各パートアナライズ |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか | 課題曲各パートアナライズ |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス | 課題曲各パートアナライズ |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------------|
| 科目名 | Berklee ゼミ(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 遠藤敬三 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | 70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|------------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | 課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | 課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | 課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション | 課題曲各パートアナライズ |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | 課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか | 課題曲各パートアナライズ |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | 課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う | 課題曲各パートアナライズ |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | 課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | 課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか | 課題曲各パートアナライズ |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | 課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 課題曲13 総復習 | 課題曲各パートアナライズ |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Instrumental Study(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | HIDE |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | サウンドプロデューサー・DJとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的 背景を交えて学習する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 現場毎に求められる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身に着ける | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|----------------------|---------------------------|-------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | DJのプレイスタイルの変化について学ぶ | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | DJ機材の変化について学ぶ | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 『DJ』に適した楽曲について学習する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 『DJ』に特化された楽曲アレンジについて学習する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 既存楽曲を『DJ』に特化するためアレンジを考察する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | スクラッチについて基本概念を学ぶ | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | スクラッチを使用して基本に沿って演奏する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | スクラッチについて応用手法を学ぶ | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | スクラッチの応用手法を用いて演奏する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | Mixの基本について学習する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | MixCDを聴いて『楽曲』を分析する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | MixCDを聴いて『つなぎ』を分析する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 前期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価 | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通してDJテクニックを学ぶ | イベントで使用する楽曲のアナライズ |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通してDJテクニックを学ぶ | イベントで使用する楽曲のアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | 毎週渡されるワークシートを用いて学習する | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| ワークシート | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Instrumental Study(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | HIDE |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | サウンドプロデューサー・DJとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的背景を交えて学習する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 現場毎に求めらるる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身に着ける | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|-----------------------------|-------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 前期復習 | 自己練習・復習 |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | レコードプールから好みの曲を選曲する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 選曲した楽曲でプレイする① 基本に沿った実践 | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 選曲した楽曲でプレイする② 応用テクニックを用いた実践 | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | rekordboxの基本概念について | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | rekordboxとDJ機材のシンクについて学ぶ | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | rekordboxとDJ機材を使用してプレイする | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | テンポ違う楽曲のつなぎ方について 基本概念 | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | テンポ違う楽曲のつなぎ方について 実践 | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 自分の演奏を録音する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 自分の演奏をプレイバックして改善点を探す | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 前回の改善を踏まえて自分の演奏を録音する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 前期・後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価 | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してDJテクニックを学ぶ | 楽曲の予習・復習 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してDJテクニックを学ぶ | 楽曲の予習・復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 毎週渡されるワークシートを用いて学習する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| ワークシート | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Gospel EnsembleA (1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 池末信 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。 | | | | | | |
| 到達目標 | 「上記学習内容が自分にとってプラスに動く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー | 課題曲予習 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 楽曲復習、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 楽曲復習、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 3曲新曲、選択理論ワーク | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | プレイフルワーク、楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 楽曲復習、新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 楽曲復習、新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 楽曲復習、ケイティワーク | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Gospel EnsembleA (2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 池末信 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。 | | | | | | |
| 到達目標 | 「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー | 前期の振り返り |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | 新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | 楽曲復習、動き復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | ケイティワーク、2曲新曲 | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 楽曲復習、動き復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 新曲2曲レクチャー、楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 総復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Gospel EnsembleB (1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 池末信 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。 | | | | | | |
| 到達目標 | 「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー | 課題曲予習 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 楽曲復習、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 楽曲復習、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 3曲新曲、選択理論ワーク | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | プレイフルワーク、楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 楽曲復習、新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 楽曲復習、新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 楽曲復習、ケイティワーク | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Gospel Ensemble B(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 池末信 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。 | | | | | | |
| 到達目標 | 「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー | 前期の振り返り |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | 新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | 楽曲復習、動き復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | ケイティワーク、2曲新曲 | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 楽曲復習、動き復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 新曲2曲レクチャー、楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 総復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | DTM(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 湯汲 哲也 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | DAWを使っでの打ち込み、レコーディング、ミキシング方法が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。自分の頭の中でイメージできているものを具体的な「音」にするためにソフトシンセやプラグインの操作方法を学び、目標とされるYoutubeやネットに音源をアップできるようになる。 | | | | | | |
| 到達目標 | 自分が作ったメロディーやコード進行をDAW(Logic)を使ってアレンジする事を目的とする。YoutubeやネットにアップできるようVoや楽器のレコーディング、ミックス、マスタリングの3工程を自分一人のできる事を目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|--|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | ソフトシンセをインストゥルメントトラックにセットして音を出す事ができる。 | ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ | ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ | ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | MIDIノートの入力方法と編集方法を学ぶ | 鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ | 鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ | 鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | MIDIクリップの取り扱い方を学ぶ | オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | MIDIデータのステップ入力方法を学ぶ | オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | MIDIデータのステップ入力方法を学ぶ | オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | マルチティンバーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ | オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | マルチティンバーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ | オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ | オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ | オリジナルのアレンジ曲をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ | 楽曲制作 |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ | 楽曲制作 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 授業で習った音楽理論に沿って、たくさんメロディーとコード進行を作ってストックしておく。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| オリジナル | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | Arranging 1 (2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 湯汲 哲也 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | DAWを使っでの打ち込み、レコーディング、ミキシング方法が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。自分の頭の中でイメージできているものを具体的な「音」にするためにソフトシンセやプラグインの操作方法を学び、目標とされるYoutubeやネットに音源をアップできるようになる。 | | | | | | |
| 到達目標 | 自分が作ったメロディーやコード進行をDAW(Protools)を使ってアレンジする事を目的とする。YoutubeやネットにアップできるようVoや楽器のレコーディング、ミックス、マスタリングの3工程を自分一人のできる事を目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--|--|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | ソフトサンプラー「Structure Free」を学ぶ | Structure Freeを使ってオリジナルのリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | ドラム専用バーチャルインストゥルメント「Boom」を学ぶ | Boomを使ってオリジナルのリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | マルチティンバー音源「Xpand!2」を学ぶ | Xpand!2の中にある気に入った音色をプロジェクトファイルに保存しておく |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | セッションのテンポ、キー、拍子の設定方法を学ぶ | オリジナル曲のテンポ、キー、拍子を変えてみる |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | クオンタイズでタイミングをずらす方法を学ぶ | 色々なクオンタイズを試してグルーブを理解しておく |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | ベロシティとコントローラーイベントの編集方法を学ぶ | レーンを開いて全ての編集方法に触れておく |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | オーディオレコーディングを学ぶ | オリジナルのメロディーをマイクで録音してプロジェクトファイルに保存しておく |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | オーディオ波形の編集を学ぶ | オリジナルのメロディーをマイクで録音してプロジェクトファイルに保存しておく |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | インサートエフェクトとSENDエフェクトの使い分け方を学ぶ | 録音したオーディオファイルにエフェクトをかける |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | インサートエフェクトとSENDエフェクトの使い分け方を学ぶ | 録音したオーディオファイルにエフェクトをかける |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | サイドチェインの使い方を学ぶ | サイドチェインを使ったオリジナルリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 「編集グループ」と「ミックスグループ」の設定方法を学ぶ | フェーダーバランスだけでラフミックスをしておく。 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | オートメーションの書き込みモード「write」「touch」「latch」の3種類を学ぶ | オリジナル曲にオートメーション使ってアレンジに変化をつけてみる |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ | 楽曲制作 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ | 楽曲制作 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 授業で習った音楽理論に沿って、たくさんメロディーとコード進行を作ってストックしておく。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| オリジナル | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | BasicKeyboard (1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 加藤エレナ |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | キーボーディストとして29年。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 歌唱、演奏、作編曲、プロデューサー、エンジニア、プログラミング等、デジタル音楽が一層発展する中で、よく使用されるキーボードの基礎を学び、発声練習、弾き歌い、作編曲等で必要な深い知識や、自由度の高い音楽性、表現方法を身につけていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | ・譜面の読み書きができるようになる。・コードの基礎を学び、様々なコード進行を両手で弾けるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-------------------------|-------|-------|-------------------------------------|---------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | フォーム、演奏前の基礎知識を学ぶ。 | 指番号、音名、音符について予習、復習。 |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | クロマチック、音階、音程、練習方法を学ぶ。 | 授業の復習、M3rd,m3rdについて予習。 |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | ダイアトニックコード、運指トレーニング方法を学ぶ。 | 音程の感覚を復習、練習。 |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | M,mコード、転回形、ディグリーについて学ぶ。 | コードの仕組みを復習、練習。 |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | I-IV-V-I、I-V-IV-I、IV-I-V-I、V-I-IV-I | T、SD,Dの機能を復習、練習。 |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 7th、II m-V7-I、I-IV-II m-V7-Iの動きを学ぶ。 | 音の動き(II,V,I)の感覚を復習、練習。 |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | VI m、VIMが入ったコードワークを学ぶ。 | IとVI mの感覚とコードの仕組みを復習、練習。 |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | III m、III Mが入ったコードワークを学ぶ。 | IとIII mの感覚とコードの仕組みを復習、練習。 |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 4和音について学ぶ。 | コードの仕組みを復習、練習。 |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | m7 b5、dim、aug、クリシェ進行を学ぶ。 | コードの仕組み、フォームの復習と練習。 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | sus4、add9、7sus4ドミナントの置き換えを学ぶ。 | コードの仕組み、フォームの復習と練習。 |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 作曲、メロディー、リズムの仕組みについて学ぶ。 | 自由に作曲してみる。試験の準備。 |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 試験、アドバイス | 試験、アドバイスの復習。イベント準備。 |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。 | 実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。 |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通して客観的感覚、仕組みを学ぶ。 | 実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 配布プリント、イヤホン、筆記用具を持参する事。 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | BasicKeyboard (2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 加藤エレナ |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | キーボーディストとして29年。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 歌唱、演奏、作編曲、プロデューサー、エンジニア、プログラミング等、デジタル音楽が一層発展する中で、よく使用されるキーボードの基礎を学び、発声練習、弾き歌い、作編曲等で必要な深い知識や、自由度の高い音楽性、表現方法を身につけていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | コードの基礎を学び、コード譜面を見て両手で弾けるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-------------------------|--------|-------|-----------------------------|-------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | マイナースケールとダイアトニックコード。 | 復習、転回形での練習。 |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | I m-IVm-V-I からの発展コードワークを学ぶ。 | 復習、転回形での練習。 |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | 曲①構成を理解して抑揚をつける。応用。 | 復習、メロディーを歌い練習してみる。 |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 左手のベースラインの動かし方。シンコペーション。 | 復習、バラデイドル練習。 |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 細かい表現方法を学ぶ。オブリガード。 | 復習、曲を聞いて練習。 |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | 曲②オンコードの演奏方法を学ぶ。 | 復習、メロディーを歌い練習してみる。 |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 左手のベースラインと右手のポジション | 復習、各Keyで対応できるように理解して練習。 |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 細かい表現方法を学ぶ。アクセント、音の長さ。 | 復習、曲を聞いて練習。 |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | 曲③イントロ、エンディングの付け方。 | 復習、メロディーを歌い練習してみる。 |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | ペダルの効果的な使い方、細かいテクニック | 復習、曲を聞いて練習。 |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | 弾き歌いのコツや聞かせ方。 | 復習、録音をして聞き返すなどの客観的練習。 |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | 作曲して伴奏。ハーモニー、リズム、表現方法。 | 総復習。 |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 試験、アドバイス | 復習。イベントの準備。 |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。 | 実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。 |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。 | 実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 配布プリント、イヤホン、筆記用具を持参する事。 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 韓国語(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 盧貞愛 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 韓国梨花女子大学卒業。延世大学韓国語教師研修課程修了。高麗サイバー大学韓国語学科・日本語学科・多文化社会専門家課程。韓国料理講師 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 1.正しいネイティブ発音と滑らかなイントネーションの練習 2.日常生活の関連がある会話を身に付ける練習。 3.ハングル能力検定5級の対策として文法と過去問題でスキルを付ける。 4.基礎単語の暗記 | | | | | | |
| 到達目標 | 1.ネイティブ発音をイントネーションで話すことができる。 2.日常生活の会話が身に付ける。 3.ハングル能力検定試験対策 4.単語力をupする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|-------|-------|----------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | #5/6/7, lesson1-4 -입니다・否定 | 位置、家族、職業、指示詞、問題解く |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | lesson5-7 있습니다, 합니다-します | 場所、存在、本文暗記、問題解く |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | lesson8-10 -습니다, -이에요. | 丁寧語、ヨ体、漢数詞、本文暗記 |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | lesson 11-14 数える、-아/어요 | 固有数字、ヘヨ体、問題解く |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | lesson 15-19 -안, -못 | 固有数字、ヘヨ体、問題解く |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | lesson 20-22-(으)세요/-(으)셨어요 | 否定文、不可能、過去形、本文暗記 |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | lesson 23-24 | 尊敬語、可能、本文暗記 |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | lesson 25 -(으)십시오, -아/어라 | ㄹ不規則、ㅁ不規則、プリント |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | lesson 26 -고, -아/어서 | 命令、本文暗記 |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | lesson27 -지만, -습니다만 | 羅列、理由、順次、作文 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 中間試験 | 筆記試験、口頭試験 |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | lesson 28 -고 있다/-아/어 있다 | 進行形、状態の進行形 |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | lesson 29 -(으)면 | 仮定、条件 |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通して会話技術を学ぶ | 前期に学んだ内容の復習を行う |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通して会話技術を学ぶ | 前期に学んだ内容の復習を行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1、ハングル能力検定問題集、過去問題集 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 韓国語(2) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 盧貞愛 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 韓国梨花女子大学卒業。延世大学韓国語教師研修課程修了。高麗サイバー大学韓国語学科・日本語学科・多文化社会専門家課程。韓国料理講師 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 1.正しいネイティブ発音と滑らかなイントネーションの練習 2.日常生活のに関連がある会話を身に付ける練習。 3.ハングル能力検定5級の対策として文法と過去問題でスキルを付ける。 4.基礎単語の暗記 | | | | | | |
| 到達目標 | 1.ネイティブ発音をイントネーションで話すことができる。 2.日常生活の会話が身に付ける。 3.ハングル能力検定試験対策 4.単語力をupする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|--------|-------|-----------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | lesson30 | ○変則, □変則、本文暗記 |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | lesson31 -고 싶다. 아/어도 되다 | 希望、許可、作文 |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | lesson32 -하십시오, -자 | 勧誘文、作文 |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | lesson33 -지 마세요/-지 마 | 禁止命令、作文 |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | lesson34 -아/어야 되다, -아/어야지 | 義務、作文、아/어体練習 |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | lesson35 -겠/-(으)르 거예요 | 意志、つもり、自分の計画、本文暗記 |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | lesson36 -ㄴ/은, -ㄴ/은 | 形容詞の連体形、プリント |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | lesson37 -는, -있는/없는, -ㄹ/을 | 動詞や存在詞の連体形、プリント |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | lesson38 ㄴ/은, -던, ㄴ/은 적이 있다 | 動詞の過去連体形、プリント |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | lesson39 -아/어 주다, -아/어 드리다 | 願い、命令、期末試験練習 |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | 期末試験 | 筆記試験、口頭試験 |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | lesson40 -아/어 보다/ -아/어 두다 | 試みる、経験、-ておく |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 動形ㄴ/은데요, 動는데요, 名인데요 | 前置き、背景の説明 |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通して会話技術を学ぶ | 学んだ内容の復習 |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通して会話技術を学ぶ | 学んだ内容の復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1、ハングル能力検定問題集、過去問題集 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | 作詞基礎(1) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 1 | 担当教員 | 甲斐健児 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 作詞講師歴:25年 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 作詞において最も重要な基本理念・コンセプトについての意識を高めさせながら、 作詞の基礎テクニックや様々な表現方法を、実例を挙げながら展開する。 | | | | | | |
| 到達目標 | コンセプト作りや様々な表現方法を、理解し実践することができるようになる。 作詞の基本理念と基礎テクニックを、理解し実践することができるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--------------------------------------|---|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 基本理念(作詞コンセプト)について理解できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日1時間程度) |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 曲構成について理解できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日2時間程度) |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 比喻について理解し、表現できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日3時間程度) |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 韻を踏むについて理解し、表現できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日4時間程度) |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 体言止めについて理解し、表現できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日5時間程度) |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 倒置法について理解し、表現できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日6時間程度) |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 対句について理解し、表現できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日7時間程度) |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 擬人法について理解し、表現できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日8時間程度) |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | ネーミング法と台詞のテクニックを実践できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日9時間程度) |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 作詞先行型について理解できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日10時間程度) |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | リフレインのテクニックについて理解し、表現できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日11時間程度) |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 効果的なタイトルの付け方について理解できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日12時間程度) |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | いま一度“キャッチー”について理解を深めることができる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日13時間程度) |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日14時間程度) |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日15時間程度) |
| 準備学習 時間外学習 | | | 聴講による理解の到達度と表現力を確認し、新たな課題を求めた作詞制作をする | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 自作著作物 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | 作詞基礎(2) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 1 | 担当教員 | 甲斐健児 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 作詞講師歴:25年 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 作詞において最も重要な基本理念・コンセプトについての意識を高めさせながら、 作詞の基礎テクニックや様々な表現方法を、実例を挙げながら展開する。 | | | | | | |
| 到達目標 | コンセプト作りや様々な表現方法を、理解し実践することができるようになる。 作詞の基本理念と基礎テクニックを、理解し実践することができるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--------------------------------------|---|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | コンピュータ的才能について理解できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日1時間程度) |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | 諧謔精神を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日2時間程度) |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | ほかの物事、スポーツ等の専門用語を利用して詞を作る | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日3時間程度) |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 逆転の発想について理解できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日4時間程度) |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 矛盾した言葉の組み合わせによる表現を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日5時間程度) |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | Wミーンズという表現への理解を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日6時間程度) |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 言葉のニュアンス印象を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日7時間程度) |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | テクノロジーの変化による詞の世界の変化を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日8時間程度) |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | 具体的に細かな表現方法を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日9時間程度) |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | 詞の流行と普遍性を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日10時間程度) |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | 詞を映像として理解し、表現できる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日11時間程度) |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | 聴き手側に思考を与えることができる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日12時間程度) |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 様々な対象を想定した作詞の手法を学ぶ(1) | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日13時間程度) |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日14時間程度) |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブパフォーマンスを学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日15時間程度) |
| 準備学習 時間外学習 | | | 聴講による理解の到達度と表現力を確認し、新たな課題を求めた作詞制作をする | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 自作著作物 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|----------------------------|
| 科目名 | Expression A(3) VT(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICSメンバー。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ボイストレーニング、および、歌唱指導 | | | | | |
| 到達目標 | ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上、基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-------------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | 短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック | |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック | 発声練習及び課題曲練習 |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | イベント課題曲のアナライズ |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | イベント課題曲のアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(3) Gt Melodic Concept(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 廣瀬昌明 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | アーティスト・プロデューサー、ライブ、CMレコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | メロディック・コンセプト1で習得した技術と知識をベースに、アプローチのバリエーションとトレーニングを行い、オリジナル・スタイルでのプレイを目指す。 | | | | | | |
| 到達目標 | ポピュラー、R&B、ジャズ、ロックなどでよく使われる一般的なコード進行でソロを弾けるようにする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|------------------------------|-------|-------|-------------------------------------|----------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | 2 of us進行 ドリアン・アプローチの理解と実践 | vii-v-i-bVII-bIII7進行でソロ練習 |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | B Bossa(1) マイナーii-V | i-iv-ii-v(key=Cm)進行でソロ練習 |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | B Bossa(2) キー・チェンジの練習 | ii-V-I(key=Eb)進行でソロ練習 |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | TeeUp(1) コンビニングとベースライン | II-V-I(key=D)進行でソロ練習 |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | TeeUp(2) ウォーキングベースとの コンビネーション | II-V-I(key=Bb)進行でソロ練習 |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | greater love(1) ペントニック・アプローチ | ii-v-i(key=Gm)進行でソロ練習 |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | greater love(2) ディミニッシュ・アプローチ | ii-v-i(key=Dm)進行でソロ練習 |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | Stella(1) m7b5のアプローチ | Valt-i(key=Cm)進行でソロ練習 |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | Stella(2) オルタードにフォーカスする | bIII-ii-v-i(key=Eb)進行でソロ練習 |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | another you(1) ハイブリッド・ペントニック | II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習 |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | another you(1) ハイブリッド・ペントニック2 | II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習 |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | Dolphin ST(1) M3, m3切り替え | Imaj7-Im7(key=C)進行でソロ練習 |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | Dolphin ST(2) 7thコードの転回形のアプローチ | II7/I-bII/I(key=C)進行でソロ練習 |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して曲を学ぶ | スケールの復習 |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアレンジを学ぶ | スケールの復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 毎日決まった時間(30分～)で練習する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 資料は授業内で配布。iPadなどで閲覧し注釈を加えます。 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(3) Bass Line Concept(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 河野充生 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 1. 様々なグルーブのベースラインを分析し、演奏出来るようになること。 2. 代理コードの概念を理解し、正しくフレージング出来るようになること。 3. 様々なコード進行に対し、適正なアルペジオとスケールを設定出来るようになること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------------------------|-------|-------|--|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 8ビートのリズムパターン、ドラムとのコンビネーションを意識したベースラインが演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 分析と移調の重要性を把握し、フレーズを様々なキーで演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | アーティキュレーション、ニュアンスによる印象の変化を意識して演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 16ビートのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | セカンダリドミナントの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | シャッフルのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 分数コードやクリシェの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 様々な拍子のベースラインを分析し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 拍子の細分化を理解し、奇数拍子のベースラインを演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | サンバ/ボサノヴァのベースラインを分析し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | レゲエのベースラインを分析し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | マンボなどのラテン系ベースラインを分析し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 前期のまとめと確認、評価。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。 | 楽曲の予習と復習 |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。 | 楽曲の予習と復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 ベースラインコンセプト教科書 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(3) Dr Control Theory(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 星山哲也 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用および各ルーディメンツの応用。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、ハイレベルなドラミングに挑戦する。 | | | | | | |
| 到達目標 | ドラムを演奏するにあたり、音色やダイナミクス等を無意識にコントロールし、楽曲の中での自由度を更に広げることを目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|--------------------------------|-------|-------|-------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | シングルストロークコンビネーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | ダブルストロークコンビネーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | シングルバラデイドルコンビネーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | ダブルストロークコンビネーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | トリプルバラデイドルコンビネーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 演習・ダブルバラデイドルバリエーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | トリプルバラデイドルバリエーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | フラムダブルバラデイドルバリエーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | フラムトリプルバラデイドルバリエーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 2拍3連応用の習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 2拍3連メトリックモジュレーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 4拍3連応用の習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 4拍3連メトリックモジュレーションの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。 | 楽曲の予習と復習 |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。 | 楽曲の予習と復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 「Control Theory」「オールアメリカンドラマー」 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression A(3) Key Play Tech(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 土屋剛 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | 鍵盤演奏に特化した課題曲の練習を通して、腱鞘炎を防ぐ奏法の習得。基礎的な練習を反復する事により、現場において様々な演奏アプローチを「思いつく」能力の習得を目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|------------|-------|-------|-------------------------------|----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 課題曲1を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | 課題曲1の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 課題曲1の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 課題曲1の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 課題曲2を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 課題曲2の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 課題曲2の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 課題曲2の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | 課題曲3を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 課題曲3の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 課題曲3の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 課題曲3の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 前期まとめ・試験。 | 前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。 | イベントでの自分の役割を確認しておく。 |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。 | イベントでの自分の役割を確認しておく。 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 復習・予習共に、確実に間違えない様な遅いテンポで練習する。 | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|----------------------------|
| 科目名 | Expression A(4) VT(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 潤豊 橋元美沙 吉田華奈 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICCSメンバー。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ボイストレーニング、および、歌唱指導 | | | | | |
| 到達目標 | ボイストレーニング、歌唱においての基礎力の向上、基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック | 発声練習及び課題曲練習 |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ) | 発声練習及び課題曲練習 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、発表会の曲チェック | 発声練習及び課題曲練習 |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 外化、発声チェック、発表会の曲チェック | 発声練習及び課題曲練習 |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | 卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、発声チェック、発表会の曲チェック | 発声練習及び課題曲練習 |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | イベント課題曲のアナライズ |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | イベント課題曲のアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(4) Gt Melodic Concept(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 廣瀬昌明 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | アーティスト・プロデューサー、ライブ、CMレコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 様々なジャンルでよく使用されるコード進行(7曲)の分析を行い、コードにあった音の選択を実践、ソロ・アプローチのバリエーションを増やす。 | | | | | | |
| 到達目標 | モードスケールの構造を理解し、各スケールのポジションを覚え、一定のテンポで弾けるようにする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|------------------------------|--------|-------|---|-------------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 1n Samba(1) インナーボイスの半音進行 | iii-bIII7-ii-bII7b5(key=Bb)進行でソロ練習 |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 1n Samba(2) チェンジの練習 | ii-bIIb5-iii(key=Bb)進行でソロ練習 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | Doneo Cm7ckent(1) 7thコードでの切り替え :ミクソリディアンベース | I7-IV7(key=Bb)進行でソロ練習 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | Doneo Cm7ckent(1) 7thコードでの切り替え :ミクソリディアンベース | II7-V7-I7(key=C)進行でソロ練習 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | Spring Leaves(1) 1キーアプローチ | ii-V-I-IV(key=G)進行でソロ練習 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | Spring Leaves(2) 各コードブロックのアプローチ | ii-bIII7-ii-bII7(key=C)進行でソロ練習 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | No Chase(1) Jazz Bluesでの基本アプローチ | 12小節ブルース進行(key=F)進行でソロ練習 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | No Chase(2) ターンアラウンドのバリエーション | iii-VI7-ii-V(key=F)進行でソロ練習 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | Wild Flow リディアン/ドリアンでのモードアプローチ | [3/4] Imaj#11-bVIIm7(key=Bb)進行でソロ練習 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | Sake and Horses(1) コンビネーションdimスケール | V7b5b9-V9-i(key=Gm)進行でソロ練習 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | Sake and Horses(2) モーダル・インターチェンジ | I-bVII7(key=F)進行でソロ練習 |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | Small Steps(1) 連続するV-1キーチェンジのアプローチ | V-I(key=G,Eb,B)進行でソロ練習 |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | Small Steps(2) 3度進行へのアプローチ | ii-V-I(key=Eb,G,B)進行でソロ練習 |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通して曲を学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアレンジを学ぶ | 楽曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 毎日決まった時間(30分～)でパターンの確認、複数のアプローチによるアドリブ練習をする | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 資料は授業内で配布。iPadなどで閲覧し注釈を加えます。 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(4) Bass Line Concept(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 河野充生 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 1、様々な代理コードやテンションの概念や機能を理解し、適正なフレージングで演奏出来るようになること。 2、アドリブによるバックিংやベースソロを演奏出来るようになること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|-------------------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | 代理コードの構成音の類似性を理解する。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | 裏コードとバッキングディミニッシュの機能を理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | モーダルインターチェンジその他の代理コードの機能を理解し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | ウォーキングベースの手法とコンセプトを理解する。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | ウォーキングベースの様々なアプローチを習得し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | ヴォイスリーディングの手法を理解し、実践できる。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | ワンコーラスのウォーキングベースラインを作成し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | メロディーとそのリズム、モチーフの重要性について理解する。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | ワンコードのベースソロのフレージングを習得し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | コードトーンやテンションを意識したフレージングを意識し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | コード進行の分析とソロのコピーの手法を習得し、実践する。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | 練習曲に対してベースラインとソロを作成し、演奏出来る。 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 後期のまとめと確認、評価 | チャプター内のエクササイズの復習。 |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。 | 楽曲の予習復習 |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。 | 楽曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| ベースラインコンセプト教科書 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression A(4) Dr Control Theory(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 星山哲也 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 劇団四季「ライオンキング」パーカッションの他、浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、つるの剛士など様々なアーティストのサポートドラマーとして活躍。専門学校で25年以上ドラム講師を続け、後進の育成にも力を入れている。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーディメンツの応用。オスティナートやリニアドラミングの習得。ダブルベースドラミングの習得。ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。それぞれのエクササイズを丁寧に練習し、ハイレベルなドラミングに挑戦する。 | | | | | | |
| 到達目標 | ドラムを演奏するにあたり、音色やダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになり、楽曲の中での自由度を更に広げることを目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|--------------------------------|--------|-------|----------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 3拍4連応用の習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | ハイブリッドルーディメンツの紹介 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | サンバオスティナートベーシックの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | サンバオスティナートの応用 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | ソングラーベオスティナートの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | ルンバクラベオスティナートの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | クラベオスティナートの応用 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | リニアエクササイズベーシックの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | リニアエクササイズの応用 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | リニアエクササイズ実践パターンの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | ダブルベースドラミングの習得 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | 総復習 | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | テスト | ワークシート・時間外でのパッド練習 |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。 | 楽曲の予習と復習 |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。 | 楽曲の予習と復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 「Control Theory」「オールアメリカンドラマー」 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression A(4) Key Play Tech(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 土屋剛 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 課題曲の練習を中心に、ピアノおよびシンセサイザーを使った演奏を学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | 前期で学んだ技能を応用する。音色の選択・編集を含めて、与えられた楽曲に対して、職業音楽家としての現場においてどのアプローチが使えるかを判断出来る能力を習得する事を目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|--------------------------|-------------------------|----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 課題曲4を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | 課題曲4の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 課題曲4の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | 課題曲4の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | 課題曲5を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | 課題曲5の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 課題曲5の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 課題曲5の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 課題曲6を元に解説と練習。 | 指定URLからの資料のダウンロード等。 |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | 課題曲6の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | 課題曲6の練習。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | 課題曲6の練習・確認。 | 授業内容の復習と予告内容の予習。 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 後期まとめ・試験。 | 後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。 |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。 | イベントでの自分の役割を確認しておく。 |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。 | イベントでの自分の役割を確認しておく。 |
| 準備学習 時間外学習 | | 課題曲に使う音色ごとの演奏方法を考えて予習する。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|----------------------|
| 科目名 | Expression B(3) Vocal Reading(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 潤豊・ 田村涼々架 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATIC'Sメンバー。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを1年次よりも更に深く学び、個々の活動の可能性の幅を広げていく。 | | | | | |
| 到達目標 | 1年次の内容を理解した上で、更に高度なリズムの理解とメロディー歌唱を出来るようにする。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|--|-------|-------|---|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | リズムー6/8拍子学ぶ。メロディー歌唱ー細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)。アカペラアンサンブル練習。リズム・メロディー・コードの聴きとり。 | 予習・復習など |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | リズムー6/8拍子学ぶ。メロディー歌唱ー細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)。アカペラアンサンブル練習。リズム・メロディー・コードの聴きとり。 | 予習・復習など |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | リズムー表現記号を意識して歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱ー細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。 | 予習・復習など |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | リズムー表現記号を意識して歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱ー細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。 | 予習・復習など |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | リズムースウィングのリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱ーシンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーBb)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。 | 予習・復習など |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | リズムースウィングのリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱ーシンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーBb)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。 | 予習・復習など |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | リズムー6/8の細かいリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱ーシンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。 | 予習・復習など |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | リズムー6/8の細かいリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱ーシンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。 | 予習・復習など |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | リズムー2/2拍子学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱ーシンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。 | 予習・復習など |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 前期テスト範囲発表。復習など。□ | テスト勉強 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 前期テスト□ | テスト勉強 |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 前期テスト予備日 | 特に無し |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | リズムー2/2拍子学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱ーシンコペーションのメロディーを歌う。色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。 | 予習・復習など |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。 | 楽曲の練習 |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。 | 楽曲の練習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 無し | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| パークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。□ | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression B(3) Gt Harmonic Concept(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 安東滋 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ活動・レコーディング活動。90年よりギター・マガジンのメイン・ライターとして、数多くの記事を執筆。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。 ・本授業では、その土台を形成するためのテンション・コードの理解と、それを生かしたエクササイズを通して、多様なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・テンションを含むコード理論を学び、それを体系的に理解する。 ・テンション・コードを自在に操る思考を身につけ、音楽センスを磨くことを大義の目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-------------------------------|----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | add9コードの考察と実践 | add9フォームの予習と復習 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | sus2コードの考察と実践 | sus2フォームの予習と復習 |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 7th系テンション・コード: 9th(1) | 9thフォームの予習と復習 |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 同: 9th(2) | 9thフォームの予習と復習 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 同: 13th(1) | 13thフォームの予習と復習 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 同: 13th(2) | 13thフォームの予習と復習 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 同: 6th&9th(1) | 6th&9thフォームの予習と復習 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 同: 6th&9th(2) | 6th&9thフォームの予習と復習 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | 同: 11th(1) | 11thフォームの予習と復習 |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 同: 11th(2) | 11thフォームの予習と復習 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 同: #11th(1) | #11thフォームの予習と復習 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 同: #11th(2) | #11thフォームの予習と復習 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 試験週 | 前期で学んだ全テンション・フォームの復習 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 準備学習 時間外学習 | | | リズム&グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| H.C.2補足教材適宜 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression B(3) Ba Groove Analyze(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 遠藤敬三 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 22歳でバンドデビュー。マリン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。B: 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。 | | | | | | |
| 到達目標 | ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|---------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | ブラジリアン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なボサノヴァパターンを例題にて説明する。 | Chapter25の復習とChapter26の予習 |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | ボサノヴァの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter26の復習とChapter27の予習 |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | ブラジリアン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なサンバパターンを例題にて説明する。 | Chapter27の復習とChapter28の予習 |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | サンバの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter28の復習とChapter29の予習 |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | ジャマイカ発祥のレゲエの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。 | Chapter29の復習とChapter30の予習 |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | レゲエの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter30の復習とChapter31の予習 |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | リズムの源流であるアフリカン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。 | Chapter31の復習とChapter32の予習 |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | 6/8拍子のアフリカン・リズムの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter32の復習とChapter33の予習 |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | キューバ発祥のアフロ・キューバン・リズムの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。 | Chapter33の復習とChapter34の予習 |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | アフロ・キューバン・リズムの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter34の復習とChapter35の予習 |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | ハードロックの原点のロックの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。 | Chapter35の復習とChapter36の予習 |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | クラシック・ロックの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter36の復習とChapter37の予習 |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | ディスコ・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。 | Chapter37の復習とChapter38の予習 |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。 | 楽曲の予習復習 |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。 | 楽曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression B(3) Dr Groove Making (3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 奥出矢 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | テクニク系及びアンサンブルクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 現代音楽におけるスタンダードグルーブの習得を目的とする。知識、テクニク、フィーリングに関して、アンサンブルの前段階となる基本体質を樹立するための演習を行う。毎回メインとなるテーマ以外にサブのテーマも設け2本立ての多角的な演習を展開する。 | | | | | | |
| 到達目標 | ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に於いて、タイム感の重要性を理解しグルーブに対する「気付き」が生まれる事を目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-----------------------------------|-------|-------|---|------------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 楽器構造(ドラムセット)と特有な記譜法の理解。8ビートとその歴史的背景を知る | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3) |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | 8ビートにおけるキックバリエーションの実践。スネアバックビートに関する理解。 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3) |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 8ビートにおける4Wayトレーニングの実践。メトロノームを使用した練習の紹介。 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3) |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | ハイハットワークの実践。ドラムの役割(アンサンブルスタンス)を理解する。 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3) |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | Aブロックフォーム(片手16)での16ビートの実践。ゴーストモーションに関する考察。 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4) |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | Aブロックフォーム(片手16)での16ビートの実践。ゴーストモーションに関する考察。 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4) |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | セットオーケストレーション:移動モーションの理解と実践。フィルインに関する考察。 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4) |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | Bブロックフォーム(両手16)での16ビートの実践。リード感覚に関する考察。 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4) |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | Cブロックフォーム(ミックス)での16ビートの実践。ゴーストノートに関する考察。 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~7) |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | Cブロックフォームでのグルーブメイク;マイナスワンプ音源を使用したトレーニングの実施 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4) |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | シャッフルビートの習得。リズム構造の理解とフィールの実践。 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~5) |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | トラディショナルスタイルの理解と実践。ハネ方のニュアンスに関する考察。 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4) |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 3連符に包括されたシャッフルフィールの実践。ゴーストノートのコントロール。 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3) |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベントを通して蓄積されたテクニクやフィールを学ぶ | リハーサルの消化と自己解析 |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベントを通して蓄積されたテクニクやフィールを学ぶ | リハーサルの消化と自己解析 |
| 準備学習 時間外学習 | | | テキストではチャプター内で扱ったメインテーマの内容をより精度を高めるために、ステップ方式のプラクティスを載せている | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | Expression B(3) Key Harmonic Concept(3) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 加藤エレナ |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | キーボーディストとして29年。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | キーボーディストが必要なジャンルに特化した演奏技術と知識を学び、それらをアンサンブルの中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。 | | | | | | |
| 到達目標 | 各ジャンルの核を勉強するために必要なスキルと要点を理解し、実践できるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-----------------------------|-------|-------|-----------------------------|--------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月19日 | 講義・演習 | Latinについて。モントューノ奏法、マンボ、サルサ。 | 復習。クリシェ、5度圏でのアプローチ練習。 |
| 2 | 5月10日 | 講義・演習 | Latin2。ボサノバ、サンバについて。 | 歴史、他楽器とのアンサンブルを理解、復習、予習。 |
| 3 | 5月17日 | 講義・演習 | 曲①Latin Jazz 代表曲から応用力を学ぶ。 | 復習、他楽曲を聞いて感覚を養う。スケール予習。 |
| 4 | 5月24日 | 講義・演習 | フィール内でのアドリブ、スケールの考え方。 | 復習、練習。耳コピー。 |
| 5 | 5月31日 | 講義・演習 | アフロキューバンについて。6/8でのアプローチ。 | 歴史、特徴を理解、復習。次回曲予習。 |
| 6 | 6月7日 | 講義・演習 | 曲②代表曲からフィール、を学ぶ。 | 復習、他楽曲を聞いて感覚を養う。 |
| 7 | 6月14日 | 講義・演習 | レゲエ、Latin Popsについて。 | 復習、ヒットソングを聞いてアプローチを研究する。 |
| 8 | 6月21日 | 講義・演習 | リディアン、スパニッシュスケールについて。 | 特徴を掴み、実践できるように復習。次曲予習。 |
| 9 | 6月28日 | 講義・演習 | 曲③スパニッシュサウンド、アプローチ | 復習、他楽曲を聞いて感覚を養う。 |
| 10 | 7月5日 | 講義・演習 | フィール内でのアドリブ、スケールの考え方。 | 復習、練習。耳コピー。 |
| 11 | 7月12日 | 講義・演習 | 各コードにおける、左手のボイスングについて。 | 復習、練習。次曲の予習。内声の移動を意識する。 |
| 12 | 7月19日 | 講義・演習 | 曲④Jazz 代表曲からボイスングの流れを学ぶ。 | 復習、練習。耳コピー。試験準備。 |
| 13 | 8月23日 | 講義・演習 | 試験、アドバイス。 | 復習。イベントの準備。 |
| 14 | 8月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。 | 実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。 |
| 15 | 9月6日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。 | 実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 配布プリント、イヤホン、五線紙、筆記用具を持参する事。 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|----------------------|
| 科目名 | Expression B(4) Vocal Reading(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 潤豊・ 田村涼々架 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICSメンバー。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ボーカルやアンサンブル、作曲の授業等で基礎となることを1年次よりも更に深く学び、個々の活動の可能性の幅を広げていく。 | | | | | |
| 到達目標 | 1年次の内容を理解した上で、更に高度なリズムの理解とメロディー歌唱を出来るようにする。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | | |
|--|--------|-------|--|------------------|--|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) | |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | リズム→表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習。メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。 | 予習・復習など | |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | リズム→表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習。メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。 | 予習・復習など | |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | リズム→3連符と2拍3連を歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。 | 予習・復習など | |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | リズム→3連符と2拍3連を歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。 | 予習・復習など | |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | リズム→12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。 | 予習・復習など | |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | リズム→12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。 | 予習・復習など | |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。 | 予習・復習など | |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。 | 予習・復習など | |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。コーラス譜面起こしなど。 | 予習・復習など | |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | 後期テスト範囲発表。復習。アカペラアンサンブル練習。 | テスト勉強 | |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | 後期テスト | テスト勉強 | |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | アカペラアンサンブル練習 | アカペラアンサンブル練習 | |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | アカペラ発表会 | 楽曲の練習 | |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。 | 楽曲の練習 | |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通して基礎を意識したパフォーマンスを学ぶ。 | 楽曲の練習 | |
| 準備学習 時間外学習 | | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | | |
| パークリー音楽大学のEar Training1 Workbook、子供のためのソルフェージュなど。□ | | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression B(4) Gt Harmonic Concept(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 安東滋 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ活動・レコーディング活動。90年よりギター・マガジンのメイン・ライターとして、数多くの記事を執筆。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ・様々な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代ギタリストの必須スキル。 ・本授業では、その土台を形成するためのテンション・コードの理解と、それを用いたエクササイズを通して、多様なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | ・テンションを含むコード理論を学び、それを体系的に理解する。 ・テンション・コードを自在に操る思考を身につけ、音楽センスを磨くことを大義の目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-------------|--------|-------|-------------------------------------|----------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | オルタード・テンションを学ぶ(1) | altボイスの予習と復習 |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | オルタード・テンションを学ぶ(2) | altボイスの予習と復習 |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | Available Note ScaleとTensionの関連性(1) | 各種スケールの予習と復習 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | Available Note ScaleとTensionの関連性(2) | 各種スケールの予習と復習 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | Sec.Dを学ぶ(長調) | Sec.D.の予習と復習 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | Minor keyの考察と実践 | 短調を構成する和音の予習と復習 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | Sec.Dを学ぶ(短調) | Sec.D.の予習と復習 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | II m7-V7のボキャブラリーを開拓 | II m7-V7の予習と復習 |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | II m7(b5)-V7のボキャブラリーを開拓 | II m7(b5)-V7の予習と復習 |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | モード系のコード・ワークを学ぶ(1) | モーダル・ハーモニーの予習と復習 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | モード系のコード・ワークを学ぶ(2) | モーダル・ハーモニーの予習と復習 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | ダブル・ストップの活用 | 各種複音の予習と復習 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 試験週 | 後期で学んだ全テンション・フォームの復習 |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通してテンション・コードを学ぶ | 課題曲への実践アプローチ |
| 準備学習 時間外学習 | | | リズム&グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ | |
| H.C.2補足教材適宜 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Expression B(4) Ba Groove Analyze(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 遠藤敬三 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 22歳でバンドデビュー。マリーン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。B: 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容で、その種類と手法を紹介し、体感することをテーマとする。ビートの感じ方に関する段階的なメニューを消化し、音楽的感性の成長に繋げる。スタンダード・ミディ・ファイルを使用し、授業にて体感させ目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。 | | | | | | |
| 到達目標 | ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--|---------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | ディスコビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter38の復習とChapter39の予習 |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | リズム&ブルースの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。 | Chapter39の復習とChapter40の予習 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | リズム&ブルースの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter40の復習とChapter41の予習 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | モータウン・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。 | Chapter41の復習とChapter42の予習 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | モータウン・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter42の復習とChapter43の予習 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | ファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。 | Chapter43の復習とChapter44の予習 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 初期のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter44の復習とChapter45の予習 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 中期のファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。 | Chapter45の復習とChapter46の予習 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | 中期のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter46の復習とChapter47の予習 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | 近代のファンク・ビートの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。 | Chapter47の復習とChapter48の予習 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | 近代のファンク・ビートの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter48の復習とChapter49の予習 |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | フュージョンの歴史的な背景とリズムの起源を説明し、基本的なパターンを例題にて説明する。 | Chapter49の復習とChapter50の予習 |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | フュージョンの基本的なパターンを実践する。(エクササイズ) | Chapter50の復習 |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ | 課題曲の予習復習 |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ | 課題曲の予習復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Expression B(4) Dr Groove Making (4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 奥出矢 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ドラムテクニック系のクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | スタンダードグルーブの抽出とアナライズが主な内容となる。幾つかの代表的なプレイスタイルを実践し、特化した技術、知識、フィーリングを学ぶ。ラテン音楽やジャズにも触れ総合的に音楽の理解を深めていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上において、様々な音楽ジャンルのエッセンスを昇華して主体的にグルーブメイク出来る能力を身につける事を目標とする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|--------|-------|---|------------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | スウィング(4ビート)フィールの習得。4ビートアプローチのための基礎理解 | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3) |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | スウィング(4ビート)フィールの習得。4Wayコンビネーションのトレーニング | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3) |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | スウィング(4ビート)フィールの習得。手足の連動性が複雑化したアドバンスアプローチ | テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3) |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | スタイルアナライズ(モータウンの歴史的背景、代表曲からのグルーブ抽出) | 参考曲の研究 Chapter42&43 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | スタイルアナライズ(スネア、スリッパが特徴的なファンクスタイルの実践) | 参考曲の研究 Chapter44 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | スタイルアナライズ(ニューオリンズ系の3:2型リズムモチーフを活かしたビートの実践) | 参考曲の研究 Chapter45 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | スタイルアナライズ(シンコペーション色が強いファンクスタイルの実践) | 参考曲の研究 Chapter46 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | グルーブメイク・トライアル(JB系のファンク)Chapter55 | マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | グルーブメイク・トライアル(セカンドライン・フィールのロック)Chapter56 | マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | グルーブメイク・トライアル(ストレート・フィールのファンク)Chapter57 | マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | グルーブメイク・トライアル(バウンス・フィールのファンク)Chapter58 | マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | グルーブメイク・トライアル(6/8フィールのファンク・ロック)Chapter59 | マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | グルーブメイク・トライアル(ラテン・フィールのファンク)Chapter60 | マイナスイオン音源を使用してフィールを構築する |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。 | リハーサルの消化とそれに伴う準備姿勢の樹立 |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。 | リハーサルの消化とそれに伴う準備姿勢の樹立 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 段階的なプラクティス以外に、マイナスイオン音源や練習用リズムトラックを使用して、アンサンブルに近い形でのエクササイズを推奨する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | Key Harmonic Concept(4) | 必修 選択 | 選択必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 加藤エレナ |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | キーボーディストとして29年。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | キーボーディストが必要なジャンルに特化した演奏技術と知識を学び、それらをアンサンブルの中で活かせる音楽的表現や応用力を身につける為の授業。 | | | | | | |
| 到達目標 | 各ジャンルの核を勉強するために必要なスキルと要点を理解し、実践できるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-----------------------------|--------|-------|---------------------------------|-------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月4日 | 講義・演習 | リハモナイズについて。 | 復習、内声移動の練習。次曲の予習。 |
| 2 | 10月11日 | 講義・演習 | 曲⑤代表的な曲からハーモニーの動きを学ぶ。 | 復習、他のアレンジ曲を聞き、研究する。 |
| 3 | 10月18日 | 講義・演習 | Gospelでよく使用されるリハモナイズ。 | 復習、Gospelを聞き研究する。 |
| 4 | 10月25日 | 講義・演習 | モダンゴスペルでの II m-V7-I のアプローチについて。 | 復習、各Keyで演奏できる様に練習。 |
| 5 | 11月1日 | 講義・演習 | Jazz Fusionについて。 | 復習、歴史をたどり、楽曲を沢山聞き練習。 |
| 6 | 11月8日 | 講義・演習 | 曲⑥代表的な曲からアプローチを学ぶ。 | 復習、コード、フレーズの応用力の練習。 |
| 7 | 11月15日 | 講義・演習 | アドリブの取り方、音色別の演奏方法を学ぶ。 | 復習、コード、フレーズの応用力の練習。 |
| 8 | 11月22日 | 講義・演習 | 曲⑦代表的な曲からアプローチを学ぶ。 | 復習、コード、フレーズの応用力の練習。 |
| 9 | 11月29日 | 講義・演習 | アドリブの取り方、音色別の演奏方法を学ぶ。 | 復習、コード、フレーズの応用力の練習。 |
| 10 | 12月6日 | 講義・演習 | 様々なジャンルを取り入れたPopsについて。 | 復習。楽曲の背景を読み、アプローチを研究する。 |
| 11 | 12月13日 | 講義・演習 | ジャンルの特徴を生かしながら歌を支える演奏技術。 | 復習。メロディーや歌をよく聞き、間を練習する。 |
| 12 | 12月20日 | 講義・演習 | ジャンルの特徴を生かしたジャムセッションを学ぶ。 | 復習、応用力をつける為の練習。 |
| 13 | 1月10日 | 講義・演習 | 試験、アドバイス。 | 復習。イベントの準備。 |
| 14 | 1月17日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ | 実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。 |
| 15 | 1月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ | 実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 配布プリント、イヤホン、五線紙、筆記用具を持参する事。 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | K-POP Dance(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 小川紗弥花 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 2PM ダンサー出演 他 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 基礎基本を身に付ける授業を主とし、必要に応じて既存曲やK-POPの要素を含むの曲の振り練習を行う。 | | | | | | |
| 到達目標 | K-POPのダンスを学ぶにあたり、必要不可欠なK-POP特有の基礎基本を身に付けると共に、ストリートダンスとは違うという事を理解し表現できるよう、またそれを生かしオーディションに合格できるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|------------------|----------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 基礎ルーティンを理解し覚える。 | 一日最低1時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低3時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低4時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低5時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・ウォーキング | 一日最低6時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・ウォーキング | 一日最低7時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低8時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低9時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低10時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低11時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低12時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低13時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲に合わせてダンスの練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲に合わせてダンスの練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-------|
| 科目名 | K-POP Dance(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 小川紗弥花 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 2PMダンサー出演 他 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 基礎基本を身に付ける授業を主とし、必要に応じて既存曲やK-POPの要素を含むの曲の振り練習を行う。 | | | | | | |
| 到達目標 | K-POPのダンスを学ぶにあたり、必要不可欠なK-POP特有の基礎基本を身に付けると共に、ストリートダンスとは違うという事を理解し表現できるよう、またそれを生かしオーディションに合格できるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|------------------|---------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 基礎ルーティンを理解し覚える。 | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・ウォーキング | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・ウォーキング | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け① | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 基礎ルーティン・振り付け② | 一日最低2時間以上練習・ストレッチをする。ステップ・振りの復習 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲に合わせてダンスの練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲に合わせてダンスの練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|-----------------------|
| 科目名 | Piano Duo A(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 吉田華奈 加藤エレナ |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | 吉田華奈: THE SOULMATIC成员として様々なコンサート、イベント、Recに参加。 加藤エレナ: キーボーディストとして30年。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ピアノとボーカルのアンサンブル | | | | | |
| 到達目標 | ピアノとボーカルとのアンサンブル力の向上 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | 講師自己紹介、授業内容説明、実践 | 課題を考えてくる |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|-----------------------|
| 科目名 | Piano Duo A(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 吉田華奈 加藤エレナ |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | 吉田華奈: THE SOULMATIC成员として様々なコンサート、イベント、Recに参加。 加藤エレナ: キーボーディストとして30年。 | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ピアノとボーカルのアンサンブル | | | | | |
| 到達目標 | ピアノとボーカルとのアンサンブル力の向上 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題を考えてくる |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|---------------|
| 科目名 | Piano Duo B(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 橋元美沙 田中ひなの |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ピアノとボーカルのアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | ピアノとボーカルとのアンサンブル力の向上 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月18日 | 講義・演習 | 講師自己紹介、授業内容説明、実践 | 課題を考えてくる |
| 2 | 5月9日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 3 | 5月16日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 4 | 5月23日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 5 | 5月30日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 6 | 6月6日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 7 | 6月13日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 8 | 6月20日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 9 | 6月27日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 10 | 7月4日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 11 | 7月11日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 12 | 7月18日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 13 | 8月22日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 14 | 8月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 9月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|---------------|
| 科目名 | Piano Duo B(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 橋元美沙 田中ひなの |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICSメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ピアノとボーカルのアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | ピアノとボーカルとのアンサンブル力の向上 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月3日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題を考えてくる |
| 2 | 10月10日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 3 | 10月17日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 4 | 10月24日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 5 | 10月31日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 6 | 11月7日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 7 | 11月14日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 8 | 11月21日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 9 | 11月28日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 10 | 12月5日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 11 | 12月12日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 12 | 12月19日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 13 | 1月9日 | 講義・演習 | 実践、実践後の生徒からの感想、講師フィードバック | 課題曲の復習 |
| 14 | 1月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 1月30日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | ピアノオケに合わせて練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | GI-naゼミ(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 嶋田恭子 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 本校卒業後メジャーデビュー、バンド活動、作詞作曲を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 発声、体幹トレーニング、テクニック、パフォーマンス、リズム感、メンタル等、 ヴォーカリストに必要な要素を身につけていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | 体が楽器だということを実感し、発声、体幹を鍛え、ヴォーカリストとしての 声を取出し、楽曲に合わせて歌うことができる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 自己紹介、授業内容の説明、歌唱 | ウォーミングアップ |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | 体幹トレーニング、発声 | 発声の復習、体幹ウォーミングアップ |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 体幹トレーニング、発声 | 発声の復習、体幹ウォーミングアップ |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 発声、リズムに合わせての発声、英語の発音 | 復習 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 発声、リズムに合わせての発声、英語の発音 | 復習 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 発声、リズムに合わせての発声、英語の発音 | 復習 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 発声、課題曲1を提示、アナライズ | 課題曲の練習 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 課題曲の歌唱 | 修正点の練習 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | 課題曲の歌唱 | 修正点の練習 |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 課題曲の歌唱、パフォーマンス | 修正点の練習 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 発声、課題曲2を提示、アナライズ | 課題曲の練習 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 課題曲の歌唱 | 修正点の練習 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 課題曲の歌唱 | 修正点の練習 |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | 練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | 練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 授業用ノート、i pad | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | GI-naゼミ(4) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 嶋田恭子 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 本校卒業後メジャーデビュー、バンド活動、作詞作曲を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 発声、体幹トレーニング、テクニック、パフォーマンス、リズム感、メンタル等、 ヴォーカリストに必要な要素を身につけていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | 体が楽器だということを実感し、発声、体幹を鍛え、ヴォーカリストとしての 声を取出し、楽曲に合わせて歌うことができる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|-------------------------------|--------|-------|-----------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 課題曲3を提示、アナライズ。発声(低音から高音) | ウォーミングアップ |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | 発声(響きを覚える)課題曲の歌唱 | 復習、練習 |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 発声(響きを覚える)課題曲の歌唱 | 復習、練習 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | パフォーマンスを含めての課題曲歌唱 | 復習、練習 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | パフォーマンスを含めての課題曲歌唱 | 復習、練習 |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | パフォーマンスを含めての課題曲歌唱 | 復習、練習 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 課題曲4の提示、アナライズ。 | 復習、練習 |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 課題曲の歌唱、コーラスワークの練習。 | 復習、練習 |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 課題曲の歌唱、コーラスワークの練習。 | 復習、練習 |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | 課題曲の歌唱、コーラスワークの練習。 | 復習、練習 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | 課題曲の歌唱、コーラスワークの練習。 | 復習、練習 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | 全課題曲の中から選択、発声パフォーマンスを含めて 歌唱できる | 復習、練習 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 全課題曲の中から選択、発声パフォーマンスを含めて 歌唱できる | 復習、練習 |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | 練習を一日最低3時間行う |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ | 練習を一日最低4時間行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 授業用ノート、iPad | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 作曲&アレンジ(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 中山聡 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 作編曲家。提供実績(SPEED Dream AKB48 乃木坂46 日向坂46 氷川きよし アニメ等 他多数) | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | コード進行を理解して作曲できるようにする。アカデミックなアプローチも理解し、幅広いメロディーが作れるようにする。 | | | | | | |
| 到達目標 | 自分の思う通りに作曲ができ、作った曲を音源として聞かせることが出来るようにする。作曲を通じて、他の人が作曲した曲を演奏する際、意図を汲んで演奏できるようになってほしい | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 自己紹介、1年次の習得レベルをチェック | 問題集 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | ダイアトニックコードの機能、two-five、ドミナントモーション、トライトーン、functional motion | 問題集 |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | セカンダリドミナント、セカンダリドミナントのtwo-five化、substitute chord | 問題集 |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 同主調からの借用和音とそのメリット | 問題集 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 2.3.4週目の内容を踏まえ、既成曲でコードアナライズ、さらに同じコード進行を使ってメロディーを作ってみる | ピアノ等、楽器を使用して音の確認 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 2.3.4週目の内容を踏まえ、既成曲でコードアナライズ、さらに同じコード進行を使ってメロディーを作ってみる | ピアノ等、楽器を使用して音の確認 |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 2.3.4週目の内容を踏まえ、既成曲でコードアナライズ、さらに同じコード進行を使ってメロディーを作ってみる | ピアノ等、楽器を使用して音の確認 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | クリシェなどの定型のコード進行の紹介、さらに発展的なアプローチ | ピアノ等、楽器を使用して音の確認 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | テンション、テンションリゾルブ | ピアノ等、楽器を使用して音の確認 |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | テンションがmelodyに効果的に使われている具体例 | ピアノ等、楽器を使用して音の確認 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | コードにテンションを加えてみる | ピアノ等、楽器を使用して音の確認 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | メロディーアナライズ | 興味ある曲でアナライズを試みる |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | メロディーアナライズ | 興味ある曲でアナライズを試みる |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作する | 制作した楽曲の提出 |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作する | 制作した楽曲の提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 作曲&アレンジ(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 中山聡 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 作編曲家。提供実績(SPEED Dream AKB48 乃木坂46 日向坂46 氷川きよし アニメ等 他多数) | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズムのアレンジができるように、各楽器の役割について理解する。またアレンジによってどのようにメロディーの間こえ方が変わるか理解する。 | | | | | | |
| 到達目標 | アレンジの音の組み立て方を理解できるようになり、自分で組み立てられるようにする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|---------------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | メロディーを印象に残す、キャッチーにするには？既成曲を挙げて説明。 | ピアノ等、楽器を使用して音の確認 |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | メロディーの反復、平行移動、合わせてベダルノートの説明 | ピアノ等、楽器を使用して音の確認 |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 4リズムの組み立ての説明、楽器の説明 | 興味ある曲で確認してみる |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | ドラムアレンジが分かる、具体的なフレーズの説明 | 興味ある曲で確認してみる |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | ベースアレンジが分かる、具体的なフレーズの説明 | 興味ある曲で確認してみる |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | ギター、鍵盤のアレンジが分かる、具体的なフレーズの説明 | 興味ある曲で確認してみる |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | ギター、鍵盤のアレンジが分かる具体的なフレーズの説明 | 興味ある曲で確認してみる |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 同じメロディーの4リズムを組み替えて、違いを説明 | 自作の曲で実践してみる |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | テンポ感をアレンジでコントロールする | 自作の曲で実践してみる |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | コーラスアレンジについて、可能であればジャズコーラスのアレンジも | 自作の曲で実践してみる |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | コーラスアレンジについて(ウーアー)可能であればジャズコーラスのアレンジも | 自作の曲で実践してみる |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | 課題作成 | データ整理 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 課題作成 | データ整理 |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作する | 制作した楽曲の提出 |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作する | 制作した楽曲の提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|----------------------------------|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | JazzDance(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 寺本藍 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | JazzDance指導歴9年 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | JAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。 | | | | | | |
| 到達目標 | プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|---------------------------|-----------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 授業の進め方の説明。卒業までの目標確認。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 身体の引き上げの理解し、ターンの練習。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 連続ターンの練習。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | ターンに 응용を加える。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | ピルエットの説明、練習開始。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | ピルエットの回る回数を増やす。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 6週まで学んだターンを取り入れたコンビネーション開始。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | ターンコンビネーションの習得の練習。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | ターンコンビネーションに 응용を加える。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | ターンコンビネーション応用の習得の練習。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 1週目からのまとめの振付け。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 実技テストの課題練習。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 実技テスト。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | YoutubeなどでJAZZを観る。知る。触れる。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|----------------------------------|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | JazzDance(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 寺本藍 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | JazzDance指導歴9年 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | JAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。 | | | | | | |
| 到達目標 | プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|---------------------------|-------------------------------|------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 筋トレによる、身体作りの強化。(腹筋) | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 筋トレによる、身体作りの強化。(体幹) | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 筋トレによる、身体作りの強化。(上半身、下半身) | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 学んだ事を取り入れた振付け開始。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 振付けの踊りこみ | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 振付けの応用 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 4週目からの振付けの発表 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付け開始。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ② | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 試験準備。 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 試験 | ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | レポートの提出 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | レポートの提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | YoutubeなどでJAZZを観る。知る。触れる。 | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Broadway Seminar(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 斉藤早春 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。auやアクエリアスのCMLレコーディングやミュージックフェアで谷村新司、和田アキ子と共演 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | アーティストにとって重要な要素である表現力・パフォーマンス力を向上させるため、英語のミュージカルの楽曲を使って心の解放やプロの技術を学ぶ。授業内外で楽曲を作り上げていく中でコミュニケーションを学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | 発表会でミュージカルの楽曲を全体及びグループで発表する際、自発的にコミュニケーションを取りながら、楽曲の意味や表現すべき意味を理解し心と繋げてパフォーマンスすることができる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 授業内容と目的の理解ができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | 歌詞を見ながら歌うことができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 感情の解放を体感することができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 楽曲の動きを覚えパフォーマンスすることができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 楽曲の意味を理解することができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 楽曲を完成させる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 歌詞を見ながら歌うことができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 楽曲の動きを覚えパフォーマンスすることができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | 楽曲の意味を理解し動きとリンクさせることができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 効果的な衣装を考え提案することができる | 発表会に向けての個人、グループ練習 |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 発表会に向けて実践練習 | 発表会に向けての個人、グループ練習 |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 発表会に向けて曲順通りにパフォーマンスすることができる | 発表会に向けての個人、グループ練習 |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 発表会 | 発表会の準備を行う |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通して表現を学ぶ | 楽曲の練習を行う |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通して表現を学ぶ | 楽曲の練習を行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Broadway Seminar(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 斉藤早春 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。auやアクエリアスのCMLレコーディングやミュージックフェアで谷村新司、和田アキ子と共演 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | アーティストにとって重要な要素である表現力・パフォーマンス力を向上させるため、英語のミュージカルの楽曲を使って心の解放やプロの技術を学ぶ。授業内外で楽曲を作り上げていく中でコミュニケーションを学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | 発表会でミュージカルの楽曲を全体及びグループで発表する際、自発的にコミュニケーションを取りながら、楽曲の意味や表現すべき意味を理解し心と繋げてパフォーマンスすることができる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|-----------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 前期発表会での体感を活かし目標を設定できる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | 歌詞を見ながら歌うことができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 楽曲の意味を理解する | 楽曲の復習とリサーチ |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | 担当の楽曲についてクラスメイトに説明することができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | 楽曲の動きを覚えパフォーマンスすることができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | 楽曲を理解し動きと心をリンクさせることができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 歌詞を見ながら歌うことができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 楽曲の動きを覚えパフォーマンスすることができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 楽曲についてクラスメイトに説明することができる | 楽曲の復習とリサーチ |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | 楽曲を理解し動きと心をリンクさせることができる | 発表会に向けての個人、グループ練習 |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | 発表会に向けて衣装を準備し流れを把握することができる | 発表会に向けての個人、グループ練習 |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | 発表会に向けて曲順通りにパフォーマンスすることができる | 発表会に向けての個人、グループ練習 |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 発表会 | 発表会の準備を行う |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して表現を学ぶ | 楽曲の練習を行う |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通して表現を学ぶ | 楽曲の練習を行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------------------------------------|
| 科目名 | Neosoul&Funk EnsembleA(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセクションでのアンサンブル | | | | | |
| 到達目標 | R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--|---|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 課題曲1-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 課題曲1-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 課題曲2-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 課題曲2-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 課題曲3-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | 課題曲3-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 課題曲4-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | 課題曲4-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 課題曲5-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 課題曲5-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 課題曲6-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 課題曲6-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う | 前期テスト希望曲の準備 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベントを通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する | イベント課題曲を読譜・アナライズ |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベントを通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する | イベント課題曲を読譜・アナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------------------------------------|
| 科目名 | Neosoul&Funk EnsembleA(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセクションでのアンサンブル | | | | | |
| 到達目標 | R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--|---|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 課題曲7-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 課題曲7-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 課題曲8-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 課題曲8-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 課題曲9-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 課題曲9-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 課題曲10-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 課題曲10-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 課題曲11-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 課題曲11-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 課題曲12-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 課題曲12-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う | 後期テスト希望曲の準備 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベントを通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する | イベント課題曲を読譜・アナライズ |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベントを通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する | イベント課題曲を読譜・アナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------------------------------------|
| 科目名 | Neosoul&Funk EnsembleB(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセッションでのアンサンブル | | | | | |
| 到達目標 | R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--|---|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 課題曲1-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 課題曲1-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 課題曲2-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 課題曲2-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 課題曲3-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | 課題曲3-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 課題曲4-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | 課題曲4-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 課題曲5-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 課題曲5-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 課題曲6-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 課題曲6-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う | 前期テスト希望曲の準備 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベントを通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する | イベント課題曲を読譜・アナライズ |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベントを通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する | イベント課題曲を読譜・アナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------------------------------------|
| 科目名 | Neosoul&Funk EnsembleB(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセッションでのアンサンブル | | | | | |
| 到達目標 | R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--|---|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 課題曲7-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 課題曲7-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 課題曲8-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 課題曲8-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 課題曲9-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 課題曲9-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 課題曲10-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 課題曲10-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 課題曲11-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 課題曲11-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 課題曲12-1 (楽曲解説・アンサンブル) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 課題曲12-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する) | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う | 後期テスト希望曲の準備 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベントを通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する | イベント課題曲を読譜・アナライズ |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベントを通じてステージ上での アンサンブル技術を学修する | イベント課題曲を読譜・アナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | 準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------------|
| 科目名 | Disco Band Ensemble A(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 遠藤敬三 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | 70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 課題曲1 ガイダンス、演習 | 課題曲各パートアナライズ |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ | 課題曲各パートアナライズ |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 課題曲2 ヴォーカルによつての正しい音量バランス | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる | 課題曲各パートアナライズ |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか | 課題曲各パートアナライズ |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル | 課題曲各パートアナライズ |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか | 課題曲各パートアナライズ |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス | 課題曲各パートアナライズ |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------------|
| 科目名 | Disco Band Ensemble A(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 遠藤敬三 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | 70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|------------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | 課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | 課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | 課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション | 課題曲各パートアナライズ |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | 課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか | 課題曲各パートアナライズ |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | 課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う | 課題曲各パートアナライズ |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | 課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | 課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか | 課題曲各パートアナライズ |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | 課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 課題曲13 総復習 | 課題曲各パートアナライズ |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------------|
| 科目名 | Disco Band Ensemble B(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 遠藤敬三 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | 70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 課題曲1 ガイダンス、演習 | 課題曲各パートアナライズ |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ | 課題曲各パートアナライズ |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 課題曲2 ヴォーカルによつての正しい音量バランス | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる | 課題曲各パートアナライズ |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか | 課題曲各パートアナライズ |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル | 課題曲各パートアナライズ |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか | 課題曲各パートアナライズ |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス | 課題曲各パートアナライズ |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------------|
| 科目名 | Disco Band Ensemble B(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 遠藤敬三 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | 70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|------------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | 課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | 課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | 課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション | 課題曲各パートアナライズ |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | 課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか | 課題曲各パートアナライズ |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | 課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う | 課題曲各パートアナライズ |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | 課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | 課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか | 課題曲各パートアナライズ |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | 課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 課題曲13 総復習 | 課題曲各パートアナライズ |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------------|
| 科目名 | Berkleeゼミ (3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 遠藤敬三 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム (Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | 70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 課題曲1 ガイダンス、演習 | 課題曲各パートアナライズ |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ | 課題曲各パートアナライズ |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 課題曲2 ヴォーカルによつての正しい音量バランス | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる | 課題曲各パートアナライズ |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか | 課題曲各パートアナライズ |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル | 課題曲各パートアナライズ |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか | 課題曲各パートアナライズ |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス | 課題曲各パートアナライズ |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------------|
| 科目名 | Berkleeゼミ(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 遠藤敬三 潤豊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル | | | | | | |
| 到達目標 | 70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|------------------------------------|------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | 課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | 課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | 課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | 課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション | 課題曲各パートアナライズ |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | 課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか | 課題曲各パートアナライズ |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | 課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う | 課題曲各パートアナライズ |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | 課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | 課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか | 課題曲各パートアナライズ |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | 課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践 | 前週の授業を踏まえ自己練習 |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 課題曲13 総復習 | 課題曲各パートアナライズ |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ | 課題曲各パートアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Instrumental Study (3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | HIDE |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | サウンドプロデューサー・DJとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的背景を交えて学習する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 現場毎に求められる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身に着ける | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|----------------------|------------------------|-------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 前期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価 | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ | イベントで使用する楽曲のアナライズ |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ | イベントで使用する楽曲のアナライズ |
| 準備学習 時間外学習 | | 毎週渡されるワークシートを用いて学習する | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| ワークシート | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Instrumental Study (4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | HIDE |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | サウンドプロデューサー・DJとして活動 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的背景を交えて学習する。 | | | | | | |
| 到達目標 | 現場毎に求められる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身に着ける | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--------------------------|-------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 自己練習・復習 |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | オリジナルプレイスタイルを確立する | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 前期・後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価 | 次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ | 楽曲の予習・復習 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベントでの実践を通してDJテクニックを学ぶ | 楽曲の予習・復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 毎週渡されるワークシートを用いて学習する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| ワークシート | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | K-POP Rap(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 日吉永昊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 2003年 4MC&1DJ HIPHOPユニットのMCとして音楽活動開始。 有名大型フェスや大規模なイベントに多く出演。現在もLIVE、イベントオーガナイズ、他アーティスト客演など精力的に活動中。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 基礎基本を身に付ける授業を主とし、必要に応じて既存曲やK-POPの要素を含むの曲の振り練習を行う。 | | | | | | |
| 到達目標 | K-POPのダンスを学ぶにあたり、必要不可欠なK-POP特有の基礎基本を身に付けると共に、ストリートダンスとは違うという事を理解し表現できるよう、またそれを生かしオーディションに合格できるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | <自己紹介><ラップの基本概念>video鑑賞(解説とトレーニング) | K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | 発声&リズムトレーニング.video鑑賞(解説とトレーニング、以下省略) | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 発声&リズムトレーニング.video鑑賞 | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 発声&リズムトレーニング.video鑑賞 | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 発声&リズムトレーニング.video鑑賞 | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 発声&リズムトレーニング.video鑑賞 | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | <習得希望曲を決める> グループ分け. 発声&リズムトレーニング | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 発声&リズムトレーニング.video鑑賞.各チームでの練習 | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 発声&リズムトレーニング.video鑑賞.ラップの様々なテクニック | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 発声&リズムトレーニング.video鑑賞.各チーム発表 | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 発声&リズムトレーニング.video鑑賞.ラップの作詞方法 | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 発声&リズムトレーニング.video鑑賞.オリジナルラップの作成.REC | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 発声&リズムトレーニング.video鑑賞.前期試験内容発表 | 楽曲を聞きクリックに合わせてリズムトレーニング・予習復習 |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲の練習を一日最低3時間行う・復習 |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲の練習を一日最低4時間行う・復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | 自分のダンス姿を動画撮影し復習をする。疑問に思ったことは記録をして授業内で確認する | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | K-POP Rap(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 日吉永昊 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 2003年 4MC&1DJ HIPHOPユニットのMCとして音楽活動開始。 有名大型フェスや大規模なイベントに多く出演。現在もLIVE、イベントオーガナイズ、他アーティスト客演など精力的に活動中。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 基礎基本を身に付ける授業を主とし、必要に応じて既存曲やK-POPの要素を含むの曲の振り練習を行う。 | | | | | | |
| 到達目標 | K-POPのダンスを学ぶにあたり、必要不可欠なK-POP特有の基礎基本を身に付けると共に、ストリートダンスとは違うという事を理解し表現できるよう、またそれを生かしオーディションに合格できるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|------------------|---|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | K-POPにおけるRAPの意義 | K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | K-POPにおけるRAPの意義 | K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | HIP HOPの歴史① | K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | HIP HOPの歴史② | K-POP楽曲を聞き、言葉のイメージを膨らませる |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | 歌詞の書き方初級 | 韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | 歌詞の書き方中級 | 韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | 歌詞の書き方実践 | 韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | オリジナルRAP発表 | 韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | RAP発表振り返り | 作成したRAPをヴォイスメモに入れて振り返る |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | リズムトレーニング① | クリックに合わせてラップを言えるように練習・復習をする |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | リズムトレーニング② | クリックに合わせてラップを言えるように練習・復習をする |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | テスト課題発表 | 学んだことの復習・練習 |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 定期試験 | 韓国語フレーズをまとめる・楽曲に合わせて言葉を当てはめてみる クリック練習・予習復習 |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲の練習を一日最低3時間行う・復習 |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通してダンスを学ぶ | 楽曲の練習を一日最低4時間行う・復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|---------------------|
| 科目名 | Group Vocal(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 潤豊・ 神崎絢乃 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。□ | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる。その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス(フォーメーション)、パフォーマンス、マインドを学ぶ。プロとしてのステージを作り上げることを学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | 歌と踊りそれぞれのスキルアップしていること、1曲の完成度を高め、より本番を意識したステージを作り上げられること。歌詞の意味を理解し、表現することができる。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--|--------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 授業の説明、課題曲1発表 | 課題曲準備 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 課題曲1、歌、ハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲2、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲3、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲4、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション、クラス替え発表 | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。 | 楽曲の練習を一日最低3時間行う・復習 |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。 | 楽曲の練習を一日最低4時間行う・復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----------------|
| 科目名 | Group Vocal(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 潤豊 ・ 神崎絢乃 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | THE SOULMATICICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。□ | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる。その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス(フォーメーション)、パフォーマンス、マインドを学ぶ。プロとしてのステージを作り上げることを学ぶ。 | | | | | | |
| 到達目標 | 歌と踊りそれぞれのスキルアップしていること、1曲の完成度を高め、より本番を意識したステージを作り上げられること。歌詞の意味を理解し、表現することができる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--|--------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 課題曲5、歌、ハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲6、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲7、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | クラス内発表、課題曲8、歌とハーモニー | 課題曲の歌詞のアナライズ |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | 歌とハーモニーの確認、フォーメーション | ハーモニーと振り付け練習 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | 出来上がり、リフレクション | クラス内発表に向けて個人練習 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | クラス内発表、1年間のリフレクション | 発表に向けて個人練習 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。 | 楽曲の練習を一日最低3時間行う・復習 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通してコミュニケーションやお客様の前でパフォーマンスする事を学ぶ。 | 楽曲の練習を一日最低4時間行う・復習 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Gospel EnsembleA (3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 池末信 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。 | | | | | | |
| 到達目標 | 「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー | 課題曲予習 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 楽曲復習、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 楽曲復習、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 3曲新曲、選択理論ワーク | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | プレイフルワーク、楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 楽曲復習、新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 楽曲復習、新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 楽曲復習、ケイティワーク | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Gospel EnsembleA (4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 池末信 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 60 (4単位) | | |
| 教員の略歴 | アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。 | | | | | | |
| 到達目標 | 「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー | 前期の振り返り |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | 新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | 楽曲復習、動き復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | ケイティワーク、2曲新曲 | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 楽曲復習、動き復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 新曲2曲レクチャー、楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 総復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Gospel EnsembleB (3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 池末信 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。 | | | | | | |
| 到達目標 | 「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|-----------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月17日 | 講義・演習 | 説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー | 課題曲予習 |
| 2 | 4月24日 | 講義・演習 | メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 3 | 5月8日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 4 | 5月15日 | 講義・演習 | 楽曲復習、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 5 | 5月22日 | 講義・演習 | 楽曲復習、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 6 | 5月29日 | 講義・演習 | 3曲新曲、選択理論ワーク | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 7 | 6月5日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 8 | 6月12日 | 講義・演習 | 3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 9 | 6月19日 | 講義・演習 | プレイフルワーク、楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 10 | 6月26日 | 講義・演習 | 楽曲復習、新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 11 | 7月3日 | 講義・演習 | 楽曲復習、新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 12 | 7月10日 | 講義・演習 | 楽曲復習、ケイティワーク | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 13 | 8月21日 | 講義・演習 | 新曲レクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 14 | 8月28日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 15 | 9月4日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | Gospel EnsembleB(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 池末信 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部2) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。 | | | | | | |
| 到達目標 | 「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月2日 | 講義・演習 | 選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー | 前期の振り返り |
| 2 | 10月9日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 3 | 10月16日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 4 | 10月23日 | 講義・演習 | 新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 5 | 10月30日 | 講義・演習 | 楽曲復習、動き復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 6 | 11月6日 | 講義・演習 | ケイティワーク、2曲新曲 | 楽曲復習、学びの振り返り、動き復習 |
| 7 | 11月13日 | 講義・演習 | 楽曲復習、動き復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 8 | 11月20日 | 講義・演習 | 楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 9 | 11月27日 | 講義・演習 | 新曲2曲レクチャー、楽曲復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 10 | 12月4日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 11 | 12月11日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 12 | 12月18日 | 講義・演習 | イベントリハーサル演習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 13 | 1月15日 | 講義・演習 | 総復習 | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 14 | 1月29日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 15 | 2月5日 | 講義・演習 | イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ | 楽曲復習、学びの振り返り |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Traditional Harmony(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 小林幸恵 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 員の略歴 | ライブ・レコーディング・作曲活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 和声の基礎を学ぶ。 ①楽曲の理解を更に深める為に学ぶ ②DTMなど打ち込み、オリジナル曲の作曲、アレンジに必要なノウハウの基礎となる ③簡単な基礎から学び、多くの実験的集積により、発展への興味を期待したい ①～③ 要点の説明後、できるだけ多くの課題を実習する。 | | | | | | |
| 到達目標 | * テキストを完了する * ルートからメロディーを作る * メロディーから内声部、ルートを作る * 全ての調に対応可能とする 合理化され無駄なく構成された理論体系により、能率的に全般の学習を完了する 和声技術の基礎を身につける事で、更に高度の専門技術の学習に困難なく進む事を可能とする | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|--------------------|---------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 主音と音度について | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 3和音、基本位置と転回位置 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | 声部、4声体について | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 1声部における2音の継続関係 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 2声部における同時・継時関係 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | 連結について | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 基本位置3和音の上3声の標準連結 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | II→V、V→VIの連結 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | 3種の和音機能について | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | カデンツの3種の型 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 和音進行の可能性について | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | 旋法と主音について | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | 主音の移動について | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作を学ぶ | 制作した楽曲の提出 |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作を学ぶ | 制作した楽曲の提出 |
| 準備学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Traditional Harmony(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 小林幸恵 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | ライブ・レコーディング・作曲活動を行う | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 和声の基礎を学ぶ。 ①楽曲の理解を更に深める為に学ぶ ②DTMなど打ち込み、オリジナル曲の作曲、アレンジに必要なノウハウの基礎となる ③簡単な基礎から学び、多くの実験的集積により、発展への興味を期待したい ①～③ 要点の説明後、できるだけ多くの課題を実習する。 | | | | | | |
| 到達目標 | * テキストを完了する * ルートからメロディーを作る * メロディーから内声部、ルートを作る * 全ての調に対応可能とする 合理化され無駄なく構成された理論体系により、能率的に全般の学習を完了する 和声技術の基礎を身につける事で、更に高度の専門技術の学習に困難なく進む事を可能とする | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--------------------|---------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | 3和音の第1転回位置について | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | I・IV・Vの標準配置 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | IIの配置・連結について | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 第2転回位置3和音の標準位置 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 3和音の仕様における定型 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | 3和音を含む標準連結 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 3和音を含むバス課題の実践 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 7の和音について | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | V7の和音の配置 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | 9の和音について | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | V9の配置 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | V9→Iの連結 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | 並進9度についての制限 | オリジナルテキストを使用した自習と復習 |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作を学ぶ | 制作した楽曲の提出 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作を学ぶ | 制作した楽曲の提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Arranging 2(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 湯汲哲也 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYouTuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | DAWを使って色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得する事が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | 色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得してクオリティーの高い音源が作れるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|-------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月20日 | 講義・演習 | 各パートのベロシティとロケーションの設定方法を学んでドラムのノリを打ち込めるようになる。 | 付属の色々な種類のドラムキットの音を出してみる |
| 2 | 4月27日 | 講義・演習 | 各パートのベロシティとロケーションの設定方法を学んでドラムのノリを打ち込めるようになる。 | 付属の色々な種類のドラムキットの音を出してみる |
| 3 | 5月11日 | 講義・演習 | ベロシティ、デュレーション、ロケーションの設定方法を学んでグループがあるBassを打ち込めるようになる。 | 属の色々な種類のベースの音を出してみる |
| 4 | 5月18日 | 講義・演習 | 演奏表現(ハンマリング・プリングオフ、グリッサンド、スライド)のプログラミングを学んでグループがあるBassを打ち込めるようになる。 | 付属の色々な種類のベースの音を出してみる |
| 5 | 5月25日 | 講義・演習 | 演奏表現(コード・ストローク、ブラッシング・ミュート、カッティング)のプログラミングを学んでギターのパッキングを打ち込めるようになる。 | 付属の色々な種類のギターの音を出してみる |
| 6 | 6月1日 | 講義・演習 | ジャンル別の両手を使ってのパッキングを学んでピアノのパッキングが打ち込めるようになる。 | 付属の色々な種類のピアノの音を出してみる |
| 7 | 6月8日 | 講義・演習 | 各ストリングス系楽器(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス)の調弦および音域を学んでストリングスの種類と特徴を理解し、打ち込みができるようになる。 | 付属の色々な種類のストリングスの音を出してみる |
| 8 | 6月15日 | 講義・演習 | 各ストリングス系楽器(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス)のフレーズを学んでストリングスの種類と特徴を理解し、打ち込みができるようになる。 | 付属の色々な種類のストリングスの音を出してみる |
| 9 | 6月22日 | 講義・演習 | ピッチベンド、エクスプレッションを使いながらホーンのフレーズを学んでホーンのフレーズを打ち込めるようになる。 | 付属の色々な種類のホーンの音を出してみる |
| 10 | 6月29日 | 講義・演習 | 良い音を録るレコーディング方法を学んでレコーディングができるようになる。 | マイクを使って色々な音を録音してみる |
| 11 | 7月6日 | 講義・演習 | 波形編集を学んで録ったオーディオをEDITできるようになる。 | 録った音に色々なエフェクトを掛けてみる |
| 12 | 7月13日 | 講義・演習 | EQやCompを使用して音の変化を学んで各楽器の帯域が分かるようになる。 | 録った音に色々なエフェクトを掛けてみる |
| 13 | 8月24日 | 講義・演習 | トラックインサートとマスターチャンネルに刺すプラグインを学んで、自分の楽曲に必要なプラグインか不要なプラグインかが判断できるようになる。 | 録った音に色々なエフェクトを掛けてみる |
| 14 | 8月31日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作を学ぶ | 制作した楽曲の提出 |
| 15 | 9月7日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作を学ぶ | 制作した楽曲の提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | DAW付属の音源やプラグインを全てチェックしておく。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| オリジナル | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | Counterpoint(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 湯汲哲也 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | DAWを使って色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得する事が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。 | | | | | | |
| 到達目標 | 色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得してクオリティーの高い音源が作れるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|---|-------------------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月5日 | 講義・演習 | ドラムの各パートの音色のバランスを学んでプリセットを使わずドラムセットを組めるようになる。 | 付属の色々な種類のドラムキットの音をEDITしてみる |
| 2 | 10月12日 | 講義・演習 | ドラムの各パートの音色のバランスを学んでプリセットを使わずドラムセットを組めるようになる。 | 付属の色々な種類のドラムキットの音をEDITしてみる |
| 3 | 10月19日 | 講義・演習 | 演奏表現(ハンマリング・プリングオフ、グリッサンド、スライド)のプログラミングを学んでBassの感情表現を打ち込みでできるようになる。 | 付属の色々な種類のベースの音をEDITしてみる |
| 4 | 10月26日 | 講義・演習 | 根音以外の音を使って動きのあるベースを学んで上下の立体感をベースで作れるようになる。 | 付属の色々な種類のベースの音をEDITしてみる |
| 5 | 11月2日 | 講義・演習 | 演奏表現(チョーキング、ビブラート、スライドハンマリング・プリングオフ)のプログラミングを学んでギター感情表現を打ち込みでできるようになる。 | 付属の色々な種類のギターの音をEDITしてみる |
| 6 | 11月16日 | 講義・演習 | エレピのポインティング(オープンポインティング)を学んで少ない音数でも美しい広がりがあるポインティングを奏でられるようになる。 | 付属の色々な種類のエレピの音を出してみる |
| 7 | 11月23日 | 講義・演習 | 弦楽4重奏を学んでストリングスのフレーズを作れるようになる。 | 付属の色々な種類のストリングスの音をEDITしてみる |
| 8 | 11月30日 | 講義・演習 | 弦楽4重奏を学んでストリングスで裏メロを作れるようになる。 | 付属の色々な種類のストリングスの音をEDITしてみる |
| 9 | 12月7日 | 講義・演習 | ホーンの奏法(シェイク、アタック・ベンド、ホルタメント、タンギング/スラー、フオール・オフ/アップ、ドロップ)を学んでホーンの奏法を打ち込めるようになる。 | 付属の色々な種類のホーンの音をEDITしてみる |
| 10 | 12月14日 | 講義・演習 | EQコンプ、ディエッサーを用いたボーカル専用処理を学んでボーカルを綺麗に処理する事ができるようになる。 | ボーカルに色々なエフェクトをかけてみる |
| 11 | 12月21日 | 講義・演習 | EQコンプ、ディエッサーを用いたボーカル専用処理を学んでボーカルを綺麗に処理する事ができるようになる。 | ボーカルに色々なエフェクトをかけてみる |
| 12 | 1月11日 | 講義・演習 | ボリュームオートメーションを使いグループを学んでグループを感じられるMixができるようになる。 | トラックに色々なオートメーションを使ってアレンジをしてみる |
| 13 | 1月18日 | 講義・演習 | ボリュームオートメーションを使いグループを学んでグループを感じられるMixができるようになる。 | トラックに色々なオートメーションを使ってアレンジをしてみる |
| 14 | 2月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作を学ぶ | 制作した楽曲の提出 |
| 15 | 2月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通して楽曲を制作を学ぶ | 制作した楽曲の提出 |
| 準備学習 時間外学習 | | | DAW付属の音源やプラグインを全てチェックしておく。 | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| オリジナル | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 韓国語(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 盧貞愛 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 韓国梨花女子大学卒業。延世大学韓国語教師研修課程修了。高麗サイバー大学韓国語学科・日本語学科・多文化社会専門家課程。韓国料理講師 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 1.正しいネイティブ発音と滑らかなイントネーションの練習 2.日常生活のに関連がある会話を身に付ける練習。 3.ハングル能力検定5級の対策として文法と過去問題でスキルを付ける。 4.基礎単語の暗記 | | | | | | |
| 到達目標 | 1.ネイティブ発音をイントネーションで話すことができる。 2.日常生活の会話が身に付ける。 3.ハングル能力検定試験対策 4.単語力をupする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|-------|-------|---|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | #5/6/7,lesson1-4 -입니다・否定 | 位置、家族、職業、指示詞、問題解く |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | lesson5-7 있습니다, 합니다~します | 場所、存在、本文暗記、問題解く |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | lesson8-10 -습니다. -이에요. | 丁寧語、ヨ体、漢数詞、本文暗記 |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | lesson 11-14 数える、-아/어요 | 固有数字、へヨ体、問題解く |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | lesson 15-19 -안, -못 | 否定文、不可能、過去形、本文暗記 |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | lesson 20-22-(으)세요/-(으)셨어요 | 尊敬語、可能、本文暗記 |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | lesson 23-24 | ㄹ不規則、ㄷ不規則、プリント |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | lesson 25 -(으)십시오, -아/어라 | 命令、本文暗記 |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | lesson 26 -고, -아/어서 | 羅列、理由、順次、作文 |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | lesson27 -지만, -습니다만 | 逆接語尾、丁寧な逆接、中間試験練習 |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | 中間試験 | 筆記試験、口頭試験 |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | lesson 28 -고 있다/-아/어 있다 | 進行形、状態の進行形 |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | lesson 29 -(으)면 | 仮定、条件 |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通して会話技術を学ぶ | 前期に学んだ内容の復習を行う |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通して会話技術を学ぶ | 前期に学んだ内容の復習を行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | 表現力、コンセプトの実践を通し、プロとして求められる詞の制作過程と表現を確認とする | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1、ハングル能力検定問題集、過去問題集 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|-----|
| 科目名 | 韓国語(4) | 必修 選択 | 必修 | 年次 | 2 | 担当教員 | 盧貞愛 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 韓国梨花女子大学卒業。延世大学韓国語教師研修課程修了。高麗サイバー大学韓国語学科・日本語学科・多文化社会専門家課程。韓国料理講師 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | 1・正しいネイティブ発音と滑らかなイントネーションの練習 2. 日常生活のに関連がある会話を身に付ける練習。 3. ハングル能力検定5級の対策として文法と過去問題でスキルを付ける。 4. 基礎単語の暗記 | | | | | | |
| 到達目標 | 1・ネイティブ発音をイントネーションで話すことができる。 2. 日常生活の会話が身に付ける。 3. ハングル能力検定試験対策 4. 単語力をupする。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|---|--------|-------|-----------------------------|-------------------|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | lesson30 | ○変則, □変則、本文暗記 |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | lesson31 -고 싶다. 아/어도 되다 | 希望、許可、作文 |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | lesson32 -하십시오, -자 | 勧誘文、作文 |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | lesson33 -지 마세요/-지 마 | 禁止命令、作文 |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | lesson34 -아/어야 되다, -아/어야지 | 義務、作文、아/어体練習 |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | lesson35 -겠/-(으)르 거예요 | 意志、つもり、自分の計画、本文暗記 |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | lesson36 -ㄴ/은, -ㄴ/운 | 形容詞の連体形、プリント |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | lesson37 -는, -있는/없는, -ㄹ/을 | 動詞や存在詞の連体形、プリント |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | lesson38 ㄴ/은, -던, ㄴ/은 적이 있다 | 動詞の過去連体形、プリント |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | lesson39 -아/어 주다, -아/어 드리다 | 願い、命令、期末試験練習 |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | 期末試験 | 筆記試験、口頭試験 |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | lesson40 -아/어 보다/ -아/어 두다 | 試みる、経験、-ておく |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 動形ㄴ/은데요, 動는데요, 名인데요 | 前置き、背景の説明 |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通して会話技術を学ぶ | 前期に学んだ内容の復習を行う |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通して会話技術を学ぶ | 前期に学んだ内容の復習を行う |
| 準備学習 時間外学習 | | | | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1、ハングル能力検定問題集、過去問題集 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | 作詞基礎(3) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 甲斐健児 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 作詞講師歴:25年 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | これまでに学んだ表現やテクニックを駆使した作品作りの実践。 自分らしい言葉の世界観の構築法を、より具体化させた作詞の制作を展開。 | | | | | | |
| 到達目標 | 作詞におけるコンセプトや表現、世界観の展開等を様々な実践を通して学び、理解する。 「受け手へのメッセージ力のあるプロ」としての作詞ができるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|-------|-------|---|---|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 4月21日 | 講義・演習 | 方向性の確認 | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日1時間程度) |
| 2 | 4月28日 | 講義・演習 | Aメロの状況説明を細かく設定する | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日2時間程度) |
| 3 | 5月12日 | 講義・演習 | 社会的な事項を取り上げる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日3時間程度) |
| 4 | 5月19日 | 講義・演習 | 独特の着眼点を持つことができる | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日4時間程度) |
| 5 | 5月26日 | 講義・演習 | 発注に対応する力を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日5時間程度) |
| 6 | 6月2日 | 講義・演習 | 言葉の持つメロディー性を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日6時間程度) |
| 7 | 6月9日 | 講義・演習 | 題材欠乏症の処方箋Ⅰ・題材を探る | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日7時間程度) |
| 8 | 6月16日 | 講義・演習 | 題材欠乏症の処方箋Ⅱ・題材を探る | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日8時間程度) |
| 9 | 6月23日 | 講義・演習 | 題材欠乏症の処方箋Ⅲ・題材を探る | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日9時間程度) |
| 10 | 6月30日 | 講義・演習 | 題材欠乏症の処方箋(番外編) | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日10時間程度) |
| 11 | 7月7日 | 講義・演習 | サウンド志向とストーリーを学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日11時間程度) |
| 12 | 7月14日 | 講義・演習 | 様々なジャンルを学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日12時間程度) |
| 13 | 8月25日 | 講義・演習 | 前期のまとめ | 課題:作詞 |
| 14 | 9月1日 | 講義・演習 | イベント実践を通して作詞制作を学ぶ | 音源を聞き、フレーズをまとめておく・言葉をメモにまとめる |
| 15 | 9月8日 | 講義・演習 | イベント実践を通して作詞制作を学ぶ | 音源を聞き、フレーズをまとめておく・言葉をメモにまとめる |
| 準備学習 時間外学習 | | | 表現力、コンセプトの実践を通し、プロとして求められる詞の制作過程と表現を確認とする | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 自作著作物 | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|----------|-------|-------------|-------------|------|------|
| 科目名 | 作詞基礎(4) | 必修 選択 | 選択 | 年次 | 2 | 担当教員 | 甲斐健児 |
| 学科・コース | プロミュージシャン科(昼間部1) | 授業 形態 | 講義・演習 | 総時間 (単位) | 30 (2単位) | | |
| 教員の略歴 | 作詞講師歴:25年 | | | | | | |
| 授業の学習 内容 | これまでに学んだ表現やテクニックを駆使した作品作りの実践。 自分らしい言葉の世界観の構築法を、より具体化させた作詞の制作を展開。 | | | | | | |
| 到達目標 | 作詞におけるコンセプトや表現、世界観の展開等を様々な実践を通して学び、理解する。 「受け手へのメッセージ力のあるプロ」としての作詞ができるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法と基準 | 筆記又は、実技テストによる採点 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | | | |
|----------------|--------|-------|--------------------------------------|---|
| 回数 | 日程 | 授業形態 | 学習内容 | 準備学習 時間外学習(学習課題) |
| 1 | 10月6日 | 講義・演習 | どこへ発信するために詞を書くのかを学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日1時間程度) |
| 2 | 10月13日 | 講義・演習 | 結婚式等、生活に密着した詞を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日2時間程度) |
| 3 | 10月20日 | 講義・演習 | スポーツ等に題材を求める | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日3時間程度) |
| 4 | 10月27日 | 講義・演習 | よりリアリティを出すための手法を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日4時間程度) |
| 5 | 11月3日 | 講義・演習 | より良いフレーズ作りを学ぶ I | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日5時間程度) |
| 6 | 11月17日 | 講義・演習 | より良いフレーズ作りを学ぶ II | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日6時間程度) |
| 7 | 11月24日 | 講義・演習 | より良いフレーズ作りを学ぶ III | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日7時間程度) |
| 8 | 12月1日 | 講義・演習 | 歌唱力に合わせた言葉選びを学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日8時間程度) |
| 9 | 12月8日 | 講義・演習 | 敢て逆説的な表現を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日9時間程度) |
| 10 | 12月15日 | 講義・演習 | 童謡等に見られる形式やリズムの普遍性を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日10時間程度) |
| 11 | 1月12日 | 講義・演習 | 自分の音楽と歴史を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日11時間程度) |
| 12 | 1月19日 | 講義・演習 | プロを続けるための多作方法を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日12時間程度) |
| 13 | 2月2日 | 講義・演習 | 共感を得る題材の探し方を学ぶ | 事前準備として詞へのイメージを各自持つようにする。授業外で作詞をする。(1日13時間程度) |
| 14 | 2月9日 | 講義・演習 | イベント実践を通して作詞制作を学ぶ | 音源を聞き、フレーズをまとめておく・言葉をメモにまとめる |
| 15 | 2月16日 | 講義・演習 | イベント実践を通して作詞制作を学ぶ | 音源を聞き、フレーズをまとめておく・言葉をメモにまとめる |
| 準備学習 時間外学習 | | | 聴講による理解の到達度と表現力を確認し、新たな課題を求めた作詞制作をする | |
| 【使用教科書・教材・参考書】 | | | | |
| 自作著作物 | | | | |